

ShinMaywa

エレベータ方式立体駐車設備

エレパーク

計画資料

(第13版)
2017年2月

EW-F型 寸法編

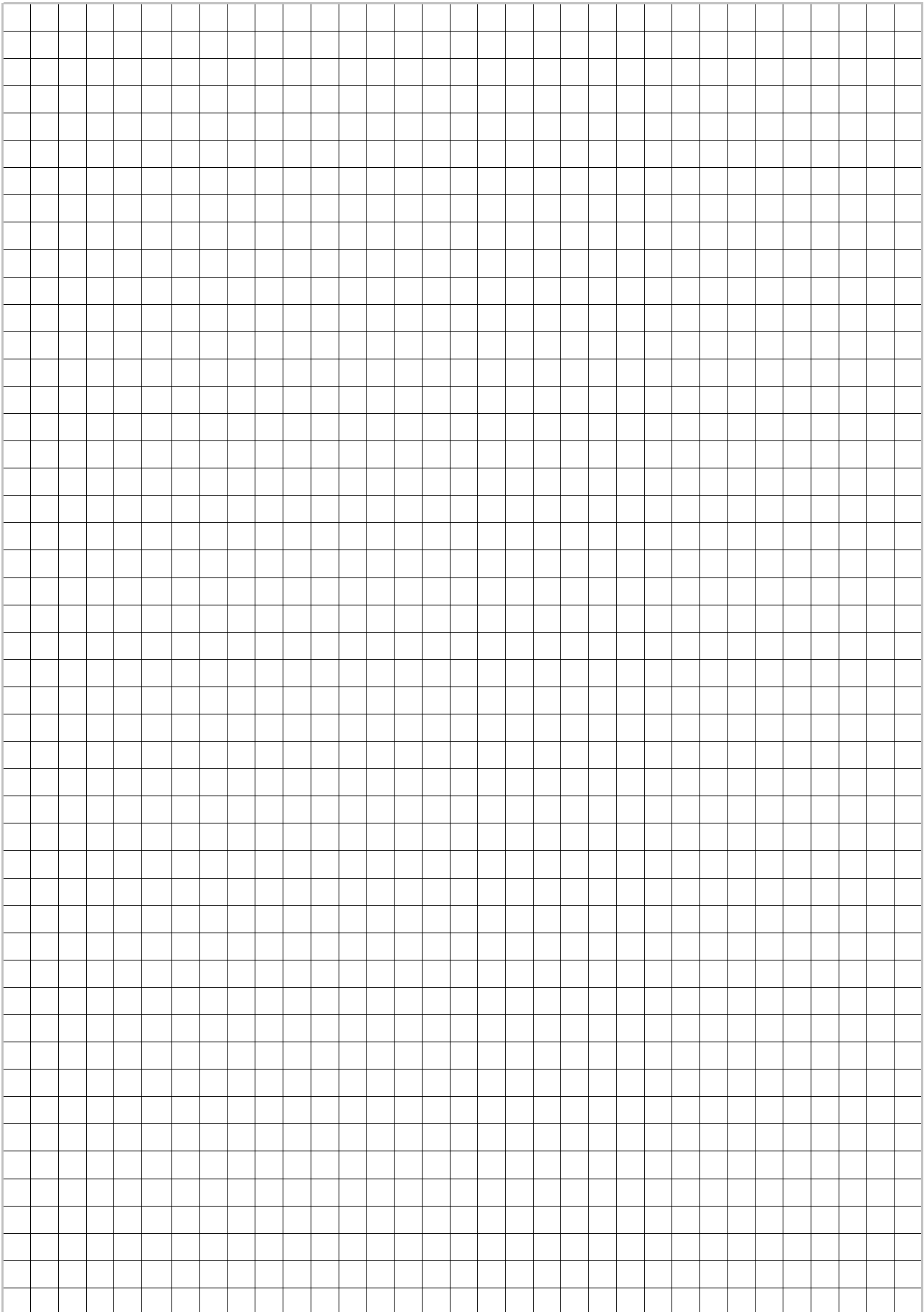
新明和工業株式会社

'16年9月 V1.3

目 次

1. 駐車装置の基礎データ	4
収容可能車種一覧表	5
装置概要および動作フロー	7
2. EW-F寸法図表	10
駐車装置型式表示	11
仕様表	12
独立鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	13
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	15
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式 (分離型)	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	17
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	19
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式 (一体型)	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	21
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	23
基礎設計用荷重	
独立鉄塔型	25
ビル内鉄塔型 (分離型)	27
ビル内鉄塔型 (一体型)	29
独立鉄塔型 棚柱の柱脚荷重	33
3. ピット周辺図	38
ピット周辺図	
独立鉄塔型	39
ビル内鉄塔型 (分離型)	43
ビル内鉄塔型 (一体型)	47
柱脚部アンカープラン表	
独立鉄塔型	52
ビル内鉄塔型 (分離型)	53
ビル内鉄塔型 (一体型)	54
吊フック取合図	
ビル内鉄塔型 (分離型)	55
ビル内鉄塔型 (一体型)	57
水平サポートおよび駐車装置層重量	59
4. 円滑性	60
円滑性の計算結果	61

IDEA



1. 駐車装置の 基礎データ

収容可能車種一覧表5

装置概要および動作フロー7

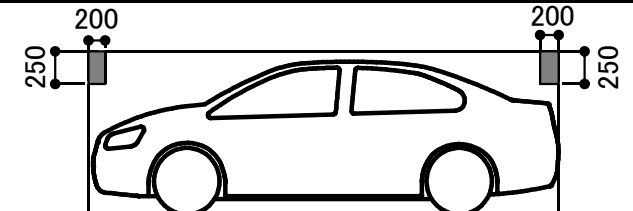
収容可能車種一覧表

収容車タイプ		収容車サイズ (単位: mm)	
ハイルーフ車	JXH		
	AH		
ミドルルーフ車	JXM		
	AM		
普通乗用車	JX		
	A		

注) 電気自動車(EV)専用パレットに入庫する場合は、車長、車幅、タイヤ外寸が各々上表-100mm、車重が上表-100kgとなります。

車形状制限寸法

全長・全高に対し、右図に示す車形状の制限があります。
 全長・全高が収容車制限寸法内であっても、形状制限寸法を超える車は入庫できません。
 乗用車・ミドルルーフ車・ハイルーフ車、全ての共通寸法です。



収容車諸元表

(社)自動車技術会発行2013年度版自動車諸元表に基づく

収容車	メーカー	車名	車長	車幅	車高	車重	タイヤ外寸
JXH	T	アルファード/ヴェルファイア	4,885	1,840	1,915	2,100	1,820
	N	エルグランド	4,945	1,850	1,815	2,120	1,820
	N	エクストレイル	4,630	1,785	1,770	1,710	1,750
	H	エリシオン プレステージ	4,920	1,845	1,810	2,030	1,810
	Z	ピアンテ	4,715	1,770	1,855	1,770	1,735
	M	デリカD5	4,730	1,795	1,870	1,860	1,765
	(A)	クライスラージープ・チェロキー	4,500	1,830	1,820	1,950	1,785
	(F)	ルノー カングー	4,215	1,830	1,895	1,490	1,730
AH	T	ランドクルーザープラド	4,820	1,885	1,900	2,240	1,850
	M	パジェロ・3800 4ドア	4,900	1,875	1,900	2,420	1,835
	(S)	ボルボXC90	4,810	1,935	1,780	2,210	1,890
	(G)	メルセデス・ベンツ V350 ロング	5,015	1,910	1,930	2,270	1,885
	(G)	メルセデス・ベンツ ML350 BlueTEC 4MATIC	4,845	1,925	1,795	2,360	1,920
JXM	T	エスティマ(4WD、ハイブリッド除く)	4,795	1,820	1,745	1,930	1,800
	N	キューブ	4,010	1,695	1,690	1,320	1,675
	N	デュアリス	4,315	1,780	1,615	1,520	1,765
	H	オデッセイ(4WD)	4,800	1,800	1,565	1,730	1,785
	H	ストリーム(4WD)	4,570	1,695	1,570	1,500	1,675
	H	フリード	4,215	1,695	1,745	1,440	1,665
	M	アウトランダー	4,665	1,800	1,720	1,700	1,765
	Z	CX-5	4,540	1,840	1,705	1,620	1,815
	Z	MPV	4,860	1,850	1,685	1,970	1,825
	F	エクシーガ	4,740	1,775	1,660	1,650	1,745
	F	フォレスター	4,595	1,795	1,735	1,620	1,775
	(G)	VW ゴルフトゥーラン	4,405	1,795	1,670	1,620	1,745
	(F)	プジョー 308SW	4,515	1,820	1,560	1,560	1,755
	(F)	シトロエン C4 ピカソ	4,590	1,830	1,700	1,620	1,775
	AM	T	ヴァンガード240S	4,570	1,855	1,690	1,630
L		RX	4,770	1,885	1,720	2,170	1,865
N		ムラーノ	4,845	1,885	1,730	1,870	1,845
(G)		アウディ Q5	4,650	1,930	1,660	2,000	1,885
(G)		VW トゥアレグ	4,800	1,945	1,740	2,380	1,925
(F)		ルノー コレオス	4,525	1,855	1,710	1,730	1,775
(S)		ボルボ XC70	4,840	1,890	1,605	1,920	1,850
JX	L	GS	4,850	1,840	1,455	1,890	1,810
	T	クラウン マジェスタ	4,995	1,810	1,480	1,840	1,780
	N	フーガ ハイブリッド	4,945	1,845	1,510	1,910	1,820
	N	ティアナ	4,850	1,795	1,500	1,580	1,775
	Z	アテンザ	4,860	1,840	1,450	1,510	1,820
	(G)	メルセデス・ベンツ C300	4,630	1,780	1,445	1,610	1,780
	(G)	メルセデス・ベンツ E550クーペ	4,715	1,785	1,395	1,760	1,795
	(G)	BMW 328i ツーリング	4,625	1,800	1,460	1,630	1,790
	(G)	アウディ A4アバント	4,715	1,825	1,465	1,780	1,780
	(G)	VW パサートヴァリアント	4,785	1,820	1,530	1,540	1,780
	(S)	ボルボV50	4,520	1,770	1,480	1,580	1,740
	(I)	フィアット 500	3,545	1,625	1,515	1,060	1,590
A	(I)	アルファロメオ ジュリエッタ	4,350	1,800	1,460	1,440	1,780
	N	フェアレディZ	4,260	1,845	1,315	1,550	1,840
	H	アコード ハイブリッド	4,915	1,850	1,465	1,640	1,845
	(E)	ジャガー XJ (ロング)	5,260	1,900	1,455	1,970	1,880
	(G)	メルセデス・ベンツ S550	5,260	1,870	1,485	2,280	1,860
	(G)	メルセデス・ベンツ CLS550	4,965	1,880	1,415	1,900	1,880
	(G)	BMW 760LI	5,230	1,900	1,485	2,290	1,895
	(G)	アウディ A8L	5,275	1,950	1,460	2,200	1,895
	(G)	VW パサートCC	4,815	1,855	1,425	1,720	1,795
	(F)	シトロエン C5ツアラー	4,845	1,860	1,490	1,680	1,830
	(S)	ボルボ V70	4,825	1,890	1,545	1,910	1,825

T:トヨタ、N:日産、H:ホンダ、Z:マツダ、M:三菱、F:スバル、L:レクサス

(A):アメリカ、(E):イギリス、(G):ドイツ、(S):スウェーデン、(F):フランス、(I):イタリア

注) 1) ドアミラーは折りたたんだ状態で入庫する条件としています。

2) 輸入車の最低地上高は考慮しておりません。110mm以下の場合、パレット中央部と干渉し、入庫できません。

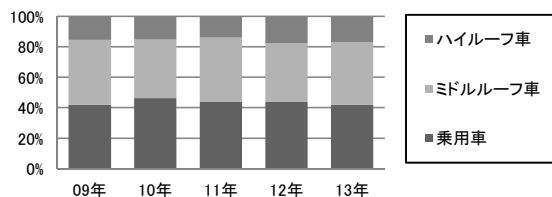
3) 本表は、(社)自動車技術会発行'13年度版自動車諸元表、メーカーHP、カタログより同一型式中の代表的な自動車を抜粋しています。参考として下さい。
なお、タイヤ外寸は標準タイヤでの算出参考値を示し、タイヤのふくらみやオフセット考慮していません。収容車サイズであっても入庫できない場合があります。

4) 本表の通称名の車であっても、年式や型式、その他寸法、外形形状の変更を伴うオプション部品の装着や改造により、収容車サイズを超える車は収容できません。また、カタログ値や車検証の値には許容差があるため、車両によっては、収容できない場合があります。車検証の許容差については下表を参照願います。

平成7年11月6日 自動車交通局長通達による(車検証許容差)

車種	長さ	幅	高さ	最低地上高	重量
軽・小型				9(cm)以上	±50(kg)
普通・大型	±3(cm)	±2(cm)	±4(cm)	(一部例外あり)	±100(kg)

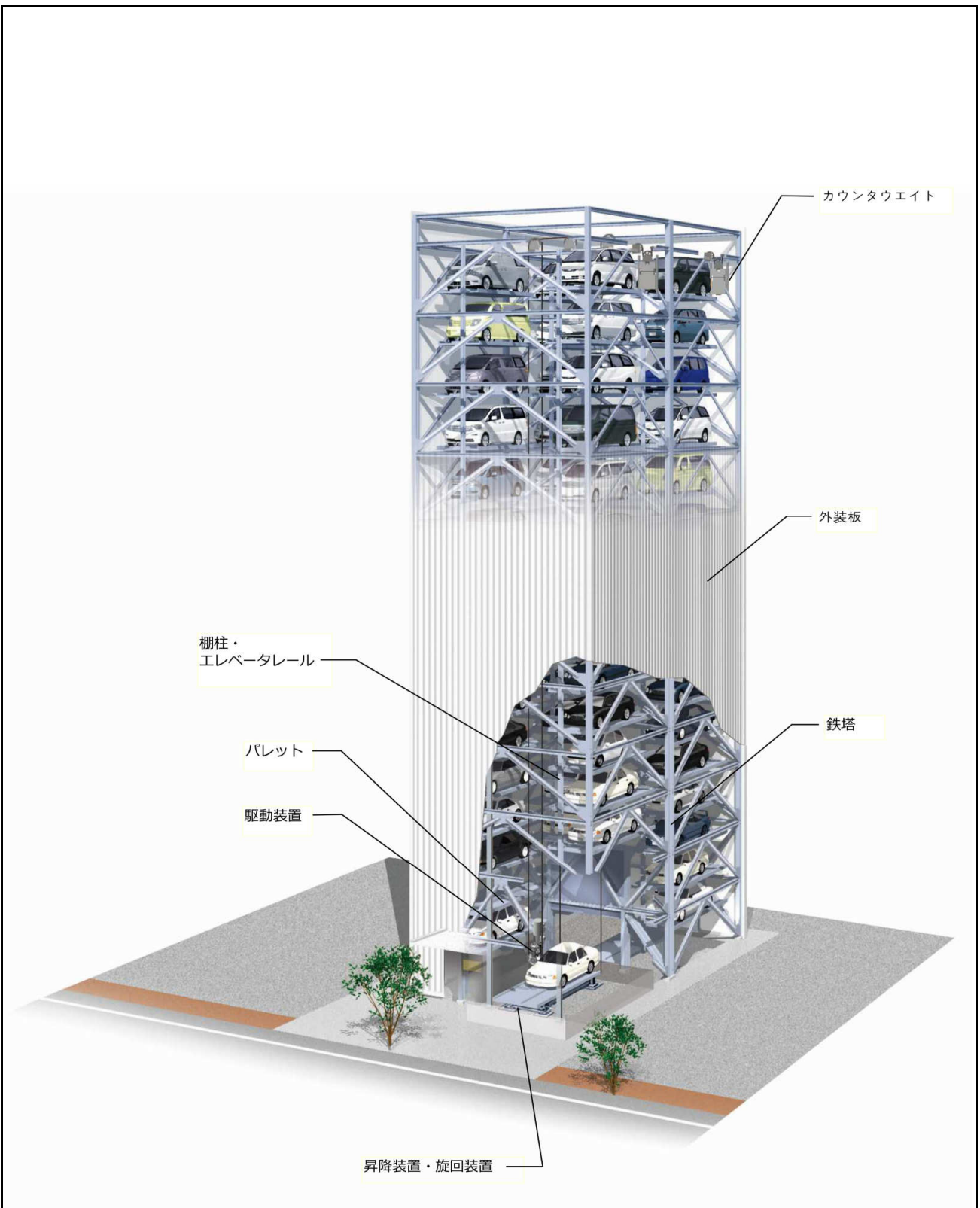
車高区分別普及比率

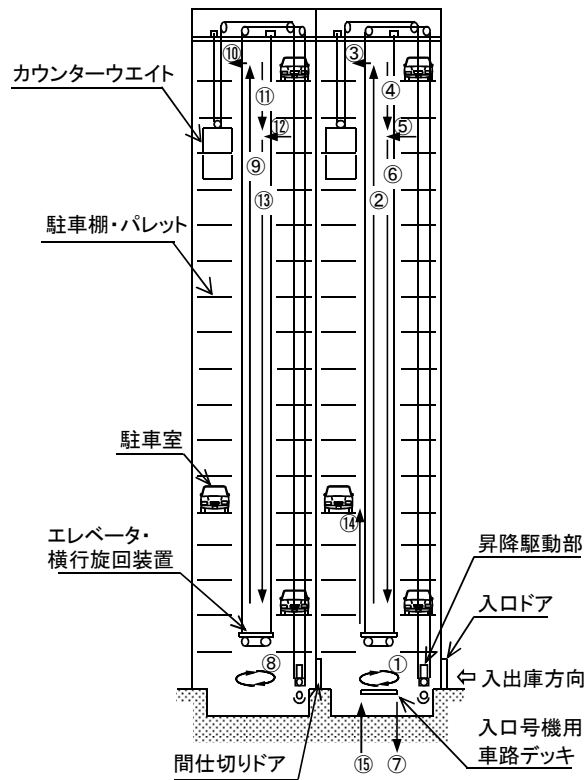


装置概要および動作フロー

下部乗入れ自走縦列式 ターンテーブル内蔵型

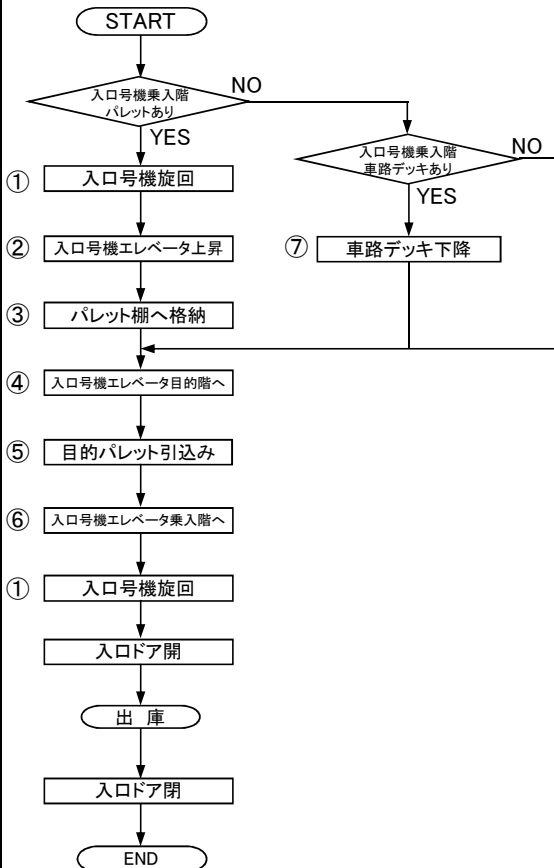
EW-F型



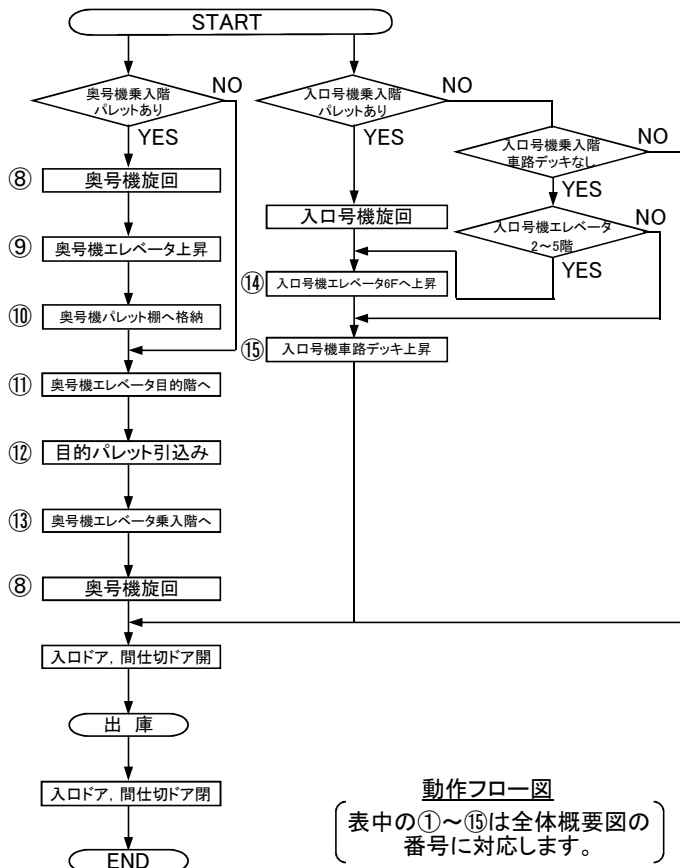


全体概要

入口号機出庫の場合

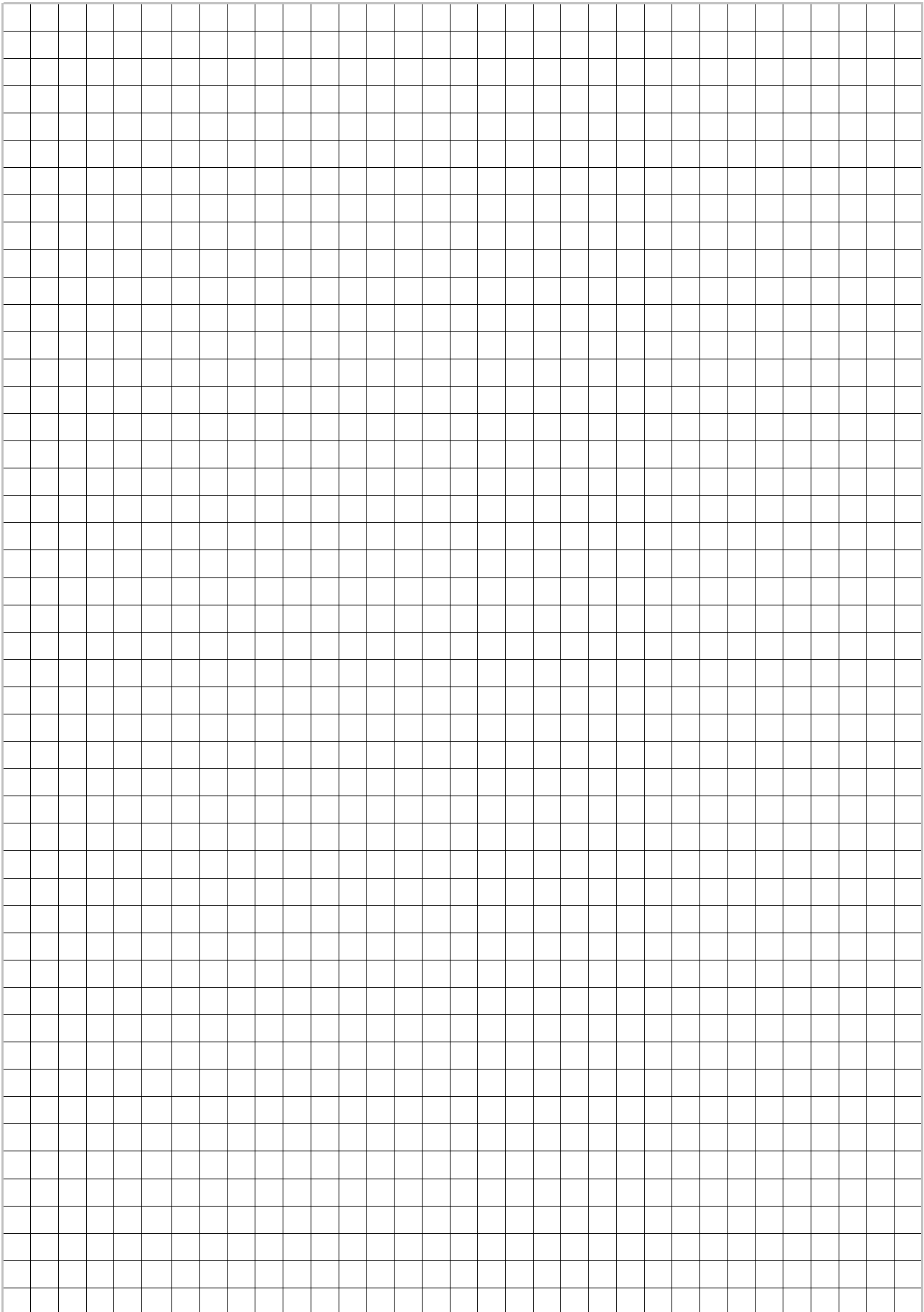


奥号機出庫の場合



動作フロー図
 (表中の①~⑮は全体概要図の番号に対応します。)

IDEA



2.EW-F 寸法図表

駐車装置型式表示	11
仕様表	12
独立鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	13
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	15
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(分離型)	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	17
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	19
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(一体型)	
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)	21
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)	23
基礎設計用荷重	
独立鉄塔型	25
ビル内鉄塔型(分離型)	27
ビル内鉄塔型(一体型)	29
独立鉄塔型 棚柱柱脚荷重	33

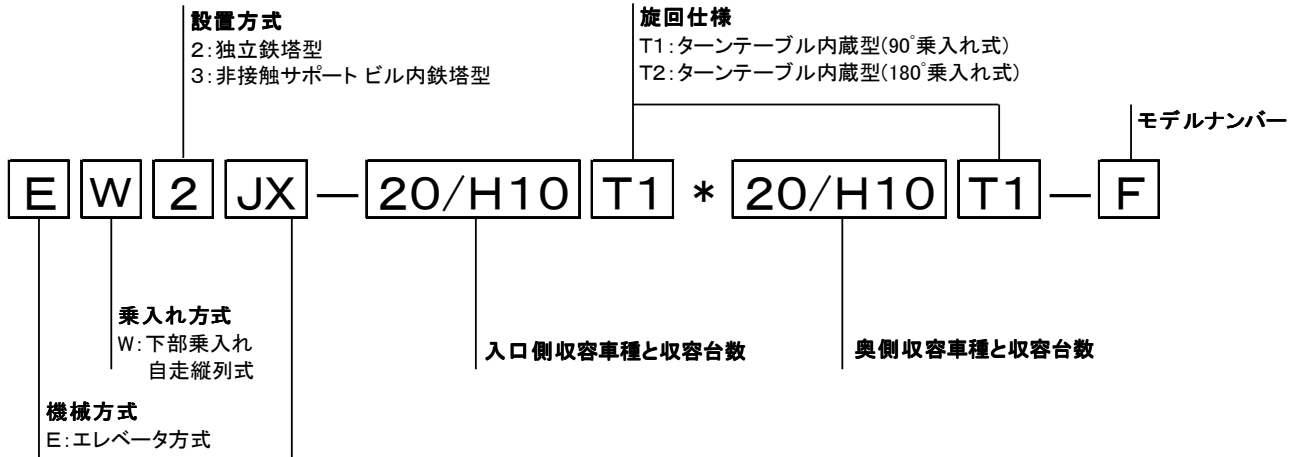
新明和エレパーク 国土交通省認定番号

種類	認定番号
エレベータ方式 下部乗入れ式 縦列式 (EW-F型)	近畿(16)-27
エレベータ方式 下部乗入れ式 縦列式 (EW-FBK型)	近畿(16)-28

※T2型入口号機全車バリアフリーのみ対応

バリアフリー対応の寸法についてはお問い合わせください。

駐車装置型式表示



対象収容車

型式	車長(mm)	車幅(mm)	車高(mm)	車重(kg)
JX	5,015	1,850	1,550	2,000
JXM	5,015	1,850	1,750	2,500
JXH	5,015	1,850	2,000	2,500
※ JXT	5,015	1,850	2,100	2,500
A	5,300	2,050	1,550	2,500
AM	5,300	2,050	1,750	2,500
AH	5,300	2,050	2,000	2,500
※ AT	5,300	2,050	2,100	2,500

※ ハイルーフ車の車高2,000mmと2,100mmの混在は対応できません。

一例

(1) EW2JX-26T2*26T2-F

独立鉄塔型 自走縦列式
乗用車(JX) 52台
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)

(2) EW3JX-20/H6T2*20/H6T2-F

ビル内鉄塔型 自走縦列式
乗用車(JX) 40台
ハイルーフ車(JXH) 12台
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)

(3) EW3JX-30T1*30T1-F

ビル内鉄塔型 自走縦列式
乗用車(JX) 60台
ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)

仕様表

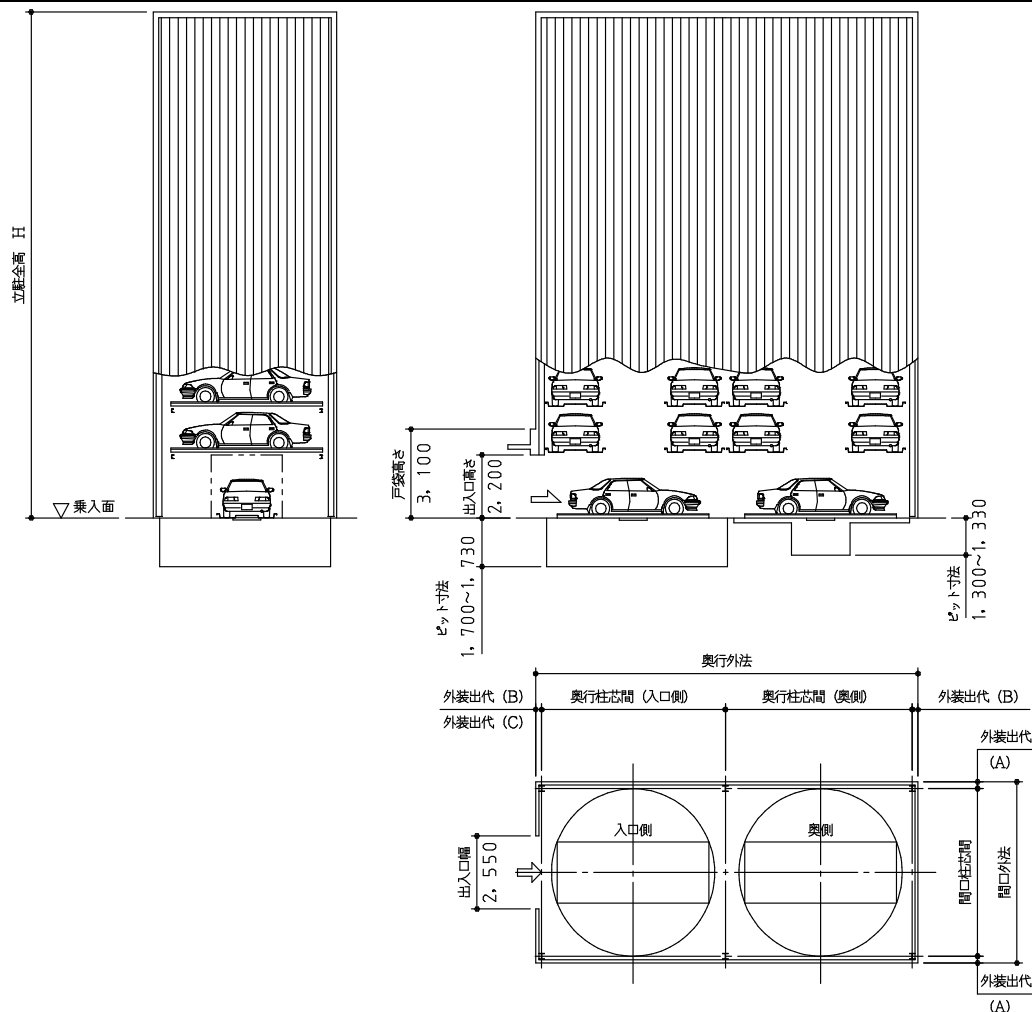
独立鉄塔型
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式ターンテーブル内蔵型(90°、180°乗入れ)

項目		収容車タイプ		JX	A		
収容可能車寸法	車 長(mm)			5,015	5,300		
	車 幅(mm)			1,850	2,050		
	ドアミラー	ドアミラーは折りたたんでください。					
	車 高(mm)	乗用車(JX)			1,550	乗用車(A)	1,550
		ミドルルーフ車(JXM)			1,750	ミドルルーフ車(AM)	1,750
		ハイルーフ車(JXH)			2,000	ハイルーフ車(AH)	2,000
		ハイルーフ車(JXT)			2,100	ハイルーフ車(AT)	2,100
	車 重(kg)	乗用車(JX)			2,000	乗用車(A)	2,500
ミドルルーフ車(JXM)				2,500	ミドルルーフ車(AM)		
ハイルーフ車(JXH)					ハイルーフ車(AH)		
ハイルーフ車(JXT)					ハイルーフ車(AT)		
タイヤ外寸(mm)			1,830	1,930			
最低地上高(mm)			110	110			
出入口	幅 (mm)	2,550					
	高さ(mm)	2,200					
	方 式	2枚横開きドア					
昇降	速 度	66～120m/min					
	主 電 動 機	乗用車(JX)	18.5kW×2台/基	乗用車(A)	18.5kW×2台/基		
		ミドルルーフ車(JXM)		ミドルルーフ車(AM)			
		ハイルーフ車(JXH)		ハイルーフ車(AH)			
		ハイルーフ車(JXT)		ハイルーフ車(AT)			
横送り	横送り速度	42m/min					
	電 動 機	1.5kW×2台/基					
旋回	旋 回 速 度	5.6rpm					
	電 動 機	1.1kW×2台/基					
デッキ	昇 降 速 度	4.2m/min					
	電 動 機	3.7kW×1台/基					
操 作 方 法		液晶パネル・テンキー方式					
電 源	電 源 容 量	乗用車(JX)	48kVA		乗用車(A)	54kVA	
		ミドルルーフ車(JXM)	54kVA		ミドルルーフ車(AM)		
		ハイルーフ車(JXH)			ハイルーフ車(AH)		
		ハイルーフ車(JXT)			ハイルーフ車(AT)		
	動 力 用	AC三相 200～220V 50/60Hz					
	照 明 用	AC単相 95～107V 50/60Hz 20A×2					
	消 火 設 備 用	AC単相 95～107V 50/60Hz 10A					
避 難 口 誘 導 灯 用	AC単相 95～107V 50/60Hz 5A						
消 火 設 備 非 常 用	DC24V						
ケ ー ス ア ー ス 線	D種						
消 火 設 備		CO ₂ (二酸化炭素)					

- 注) 1) 収容車高さ混在の場合、最大車高、車重にて装置の仕様が決まります。
2) 収容車高さ混在の場合、車高2,000mmと車高2,100の混在はできません。
3) 消火設備についてはCO₂(二酸化炭素)以外の計画も可能です。

独立鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)



項目	収容車タイプ	JX(中型車)			A(大型車)		
		24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下	24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下
立駐全高	(mm)	24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下	24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下
出入口幅	(mm)	2,550			2,550		
出入口高さ	(mm)	2,200			2,200		
間口外法	(mm)	6,330	6,380	6,430	6,630	6,680	6,730
奥行外法	(mm)	13,700(13,930)	13,750(13,955)	13,800(13,980)	14,300(14,530)	14,350(14,555)	14,400(14,580)
間口柱芯間	(mm)	5,860			6,160		
奥行柱芯間+奥行柱芯間2	(mm)	(入口側)6,590+(奥側)6,690			(入口側)6,890+(奥側)6,990		
外装出代(A)	(mm)	235	260	285	235	260	285
外装出代(B)	(mm)	210	235	260	210	235	260
出入口部(戸袋高さまで)外装出代(C)	(mm)	440					

- 注) 1) 上記寸法は鋼板外装(足場無し工法)、別置三方枠、底上ポンベ室無しの場合を示します。
 2) 柱芯間: 塔状比(=H(全高)÷B(柱芯間+柱幅寸法))が6を超える建物は、原則として建築センター等での評価が必要になります。立駐全高がJX:36.6m以上、A:38.4m以上の場合、上記に該当します。この塔状比を6以下にするために下式にて柱芯間を決めてください。

$$\text{柱芯間} \geq \text{全高} \div 6 - 250 + \alpha \quad (\alpha: \text{柱芯間が} 50\text{mm刻みになるようにする})$$
 <例>JX42台の場合 $37,060(\text{全高}) \div 6 - 250 = 5,926.7 \rightarrow 5,950\text{mm}(\text{間口})$
 奥行寸法は、上表通り(6,590+6,690)mm (≥5,950 OK)
 ★立体駐車場の場合、塔状比が緩和される場合があります。計画の際は、行政に確認して下さい。
 3) 2時間耐火の施工が必要な場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。
 4) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は間口柱芯間、間口外法が上表+50mm必要となります。
 5) 奥行外法の()内寸法は、出入口部を示します。
 6) 地震時の変形量

立駐の平面計画に際し、隣接ビル等とのクリアランスを確保するために、立駐の地震時の変形量は、概算値として下式で計画してください。(Co=0.2時)

全高25m以下 $\delta(\text{変形量}) = (\text{地上高}) \div 800$ (両方向共)
 25m超 $\delta(\text{変形量}) = (\text{地上高}) \div 500$ (両方向共)

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,250$	N : 乗用車台数 NM : ミドルルーフ車台数 NH : ハイールーフ車台数 ()内の式はハイールーフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルルーフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,280$	
ハイールーフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=2,160 \times NH/2+3,380$)	
乗用車とミドルルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,280$	
乗用車とハイールーフ車混在	$H1=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,380$)	
ミドルルーフ車	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,280$	
ハイールーフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,380$	
乗用車、ミドルルーフ車	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,280$	
ハイールーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,380$	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)

ハイールーフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,130
18	17,740
20	19,350
22	20,960
24	22,570
26	24,180
28	25,790
30	27,400
32	29,010
34	30,620
36	32,230
38	33,840
40	35,450
42	37,060

ミドルルーフ車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	17,760
18	19,570
20	21,380
22	23,190
24	25,000
26	26,810
28	28,620
30	30,430
32	32,240
34	34,050
36	35,860
38	37,670
40	39,480
42	41,290

ハイールーフ車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	19,760
18	21,820
20	23,880
22	25,940
24	28,000
26	30,060
28	32,120
30	34,180
32	36,240
34	38,300
36	40,360
38	42,420
40	44,480

3車種(乗用車、ミドルルーフ車、ハイールーフ車)混在

乗用車 N(台)	ミドルルーフ車 NM(台)	ハイールーフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,620
12	4	4	20,680
12	6	4	22,490
12	6	6	24,550
16	4	2	21,840
16	4	4	23,900
16	6	4	25,710
16	6	6	27,770
20	6	4	28,930
20	6	6	30,990
20	8	6	32,800
20	8	8	34,860
24	6	4	32,150
24	6	6	34,210
24	8	6	36,020
24	8	8	38,080
28	8	4	37,180
28	8	6	39,240
28	10	6	41,050
28	10	8	43,110

乗用車とミドルルーフ車混在

全高 H(mm)	NM ミドルルーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	16,360	18,170	19,980	21,790	23,600	25,410	27,220
16	17,970	19,780	21,590	23,400	25,210	27,020	28,830
18	19,580	21,390	23,200	25,010	26,820	28,630	30,440
20	21,190	23,000	24,810	26,620	28,430	30,240	32,050
22	22,800	24,610	26,420	28,230	30,040	31,850	33,660
24	24,410	26,220	28,030	29,840	31,650	33,460	35,270
26	26,020	27,830	29,640	31,450	33,260	35,070	36,880
28	27,630	29,440	31,250	33,060	34,870	36,680	38,490
30	29,240	31,050	32,860	34,670	36,480	38,290	40,100
32	30,850	32,660	34,470	36,280	38,090	39,900	41,710
34	32,460	34,270	36,080	37,890	39,700	41,510	43,320
36	34,070	35,880	37,690	39,500	41,310	43,120	44,930
38	35,680	37,490	39,300	41,110	42,920	44,730	-
40	37,290	39,100	40,910	42,720	44,530	-	-
42	38,900	40,710	42,520	44,330	-	-	-

乗用車とハイールーフ車混在

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	16,610	18,670	20,730	22,790	24,850	26,910	28,970
16	18,220	20,280	22,340	24,400	26,460	28,520	30,580
18	19,830	21,890	23,950	26,010	28,070	30,130	32,190
20	21,440	23,500	25,560	27,620	29,680	31,740	33,800
22	23,050	25,110	27,170	29,230	31,290	33,350	35,410
24	24,660	26,720	28,780	30,840	32,900	34,960	37,020
26	26,270	28,330	30,390	32,450	34,510	36,570	38,630
28	27,880	29,940	32,000	34,060	36,120	38,180	40,240
30	29,490	31,550	33,610	35,670	37,730	39,790	41,850
32	31,100	33,160	35,220	37,280	39,340	41,400	43,460
34	32,710	34,770	36,830	38,890	40,950	43,010	45,070
36	34,320	36,380	38,440	40,500	42,560	44,620	-
38	35,930	37,990	40,050	42,110	44,170	-	-
40	37,540	39,600	41,660	43,720	-	-	-
42	39,150	41,210	43,270	-	-	-	-

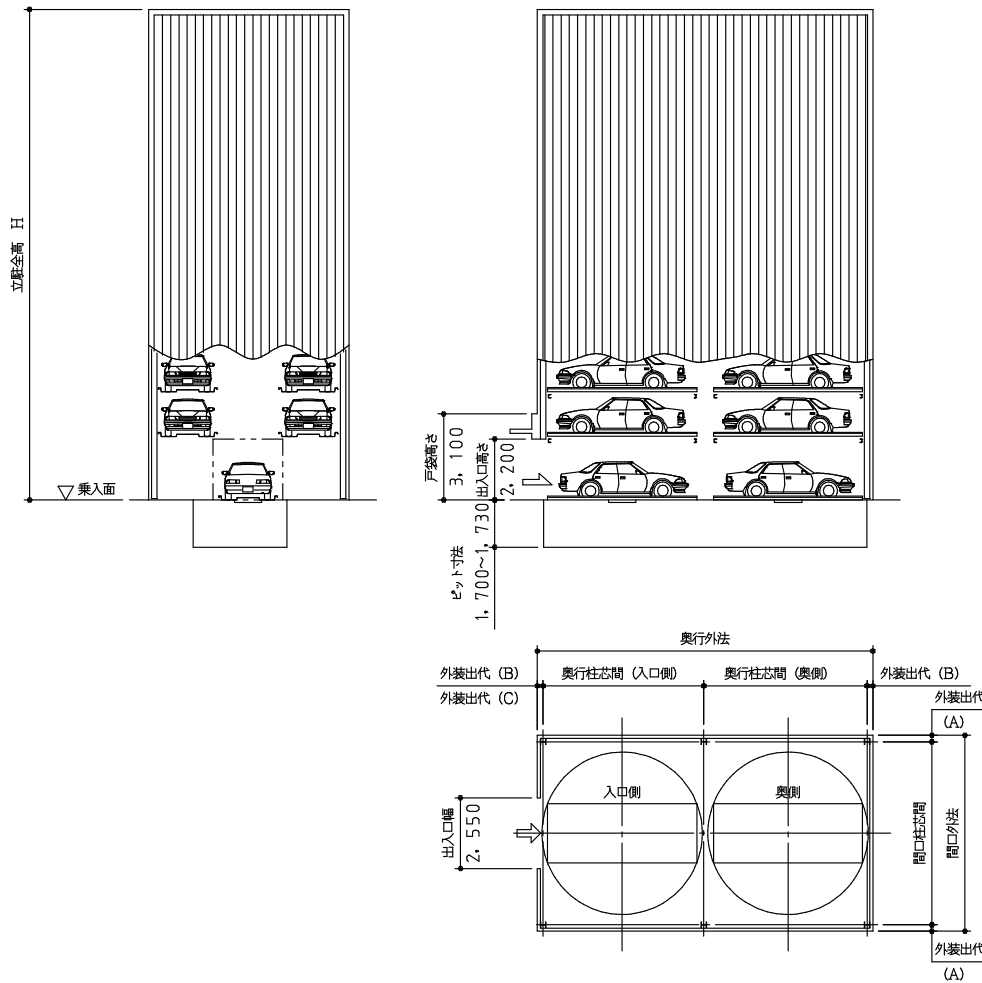
ミドルルーフ車とハイールーフ混在

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	18,010	20,070	22,130	24,190	26,250	28,310	30,370
16	19,820	21,880	23,940	26,000	28,060	30,120	32,180
18	21,630	23,690	25,750	27,810	29,870	31,930	33,990
20	23,440	25,500	27,560	29,620	31,680	33,740	35,800
22	25,250	27,310	29,370	31,430	33,490	35,550	37,610
24	27,060	29,120	31,180	33,240	35,300	37,360	39,420
26	28,870	30,930	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230
28	30,680	32,740	34,800	36,860	38,920	40,980	43,040
30	32,490	34,550	36,610	38,670	40,730	42,790	44,850
32	34,300	36,360	38,420	40,480	42,540	44,600	-
34	36,110	38,170	40,230	42,290	44,350	-	-
36	37,920	39,980	42,040	44,100	-	-	-
38	39,730	41,790	43,850	-	-	-	-
40	41,540	43,600	-	-	-	-	-
42	43,350	-	-	-	-	-	-

注1) 寒冷地仕様(オプション)採用時は全高寸法(H)が各表+110mm必要となります。
 注2) 連基の場合、屋根勾配取合い上、全高寸法(H)が各表+300mm必要となります。

独立鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式

ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)



項目	収容車タイプ			A(大型車)		
	JX(中型車)			A(大型車)		
立駐全高 (mm)	24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下	24m以下	24m超～ 40m以下	40m超～ 45m以下
出入口幅 (mm)	2,550			2,550		
出入口高さ (mm)	2,200			2,200		
間口外法 (mm)	7,060	7,110	7,160	7,360	7,410	7,460
奥行外法 (mm)	12,240(12,470)	12,290(12,495)	12,340(12,520)	12,840(13,070)	12,890(13,095)	12,940(13,120)
間口柱芯間 (mm)	6,590			6,890		
奥行柱芯間+奥行柱芯間2 (mm)	(入口側)5,860+(奥側)5,960			(入口側)6,160+(奥側)6,260		
外装出代(A) (mm)	235	260	285	235	260	285
外装出代(B) (mm)	210	235	260	210	235	260
出入口部(戸袋高さまで)外装出代(C) (mm)	440					

- 注) 1) 上記寸法は鋼板外装(足場無し工法)、別置三方枠、底上ポンベ室無しの場合を示します。
 2) 柱芯間:塔状比(=H(全高)÷B(柱芯間+柱幅寸法))が6を超える建物は、原則として建築センター等での評価が必要になります。
 立駐全高がJX:41.0m以上、A:42.8m以上の場合、上記に該当します。
 この塔状比を6以下にするために下式にて柱芯間を決めてください。

$$\text{柱芯間} \geq \text{全高} \div 6 - 250 + \alpha \quad (\alpha: \text{柱芯間が} 50\text{mm刻みになるようにする})$$
 <例>JXH40台の場合 $44,480(\text{全高}) \div 6 - 250 = 7,163 \rightarrow 7,200\text{mm}(\text{間口})$
 奥行寸法は、上表通り(5,860+5,960)mm(≥7,200mm OK)
 ★立体駐車場の場合、塔状比が緩和される場合があります。計画の際は、行政に確認して下さい。
 3) 2時間耐火の施工が必要な場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。
 4) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は奥行柱芯間が各々上表+50mm、奥行外法が上表+100mm必要となります。
 5) 奥行外法の()内寸法は、出入口部を示します。
 6) 地震時の変形量
 立駐の平面計画に際し、隣接ビル等とのクリアランスを確保するために、立駐の地震時の変形量は、概算値として下式で計画してください。 (Co=0.2時)
- | | |
|---------|---|
| 全高25m以下 | $\delta(\text{変形量}) = (\text{地上高}) \div 800$ (両方向共) |
| 25m超 | $\delta(\text{変形量}) = (\text{地上高}) \div 500$ (両方向共) |

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,250$	N : 乗用車台数 NM : ミドルーフ車台数 NH : ハイルフ車台数 ()内の式はハイルフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルーフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,280$	
ハイルフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=2,160 \times NH/2+3,380$)	
乗用車とミドルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,280$	
乗用車とハイルフ車混在	$H=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,380$)	
ミドルーフ車とハイルフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,380$)	
乗用車、ミドルーフ車とハイルフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,280$ ($H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,380$)	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)

ハイルフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,130
18	17,740
20	19,350
22	20,960
24	22,570
26	24,180
28	25,790
30	27,400
32	29,010
34	30,620
36	32,230
38	33,840
40	35,450
42	37,060

ミドルーフ車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	17,760
18	19,570
20	21,380
22	23,190
24	25,000
26	26,810
28	28,620
30	30,430
32	32,240
34	34,050
36	35,860
38	37,670
40	39,480
42	41,290

ハイルフ車のみ収容

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	19,760
18	21,820
20	23,880
22	25,940
24	28,000
26	30,060
28	32,120
30	34,180
32	36,240
34	38,300
36	40,360
38	42,420
40	44,480

3車種(乗用車、ミドルーフ車、ハイルフ車)混在

乗用車 N(台)	ミドルーフ車 NM(台)	ハイルフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,620
12	4	4	20,680
12	6	4	22,490
12	6	6	24,550
16	4	2	21,840
16	4	4	23,900
16	6	4	25,710
16	6	6	27,770
20	6	4	28,930
20	6	6	30,990
20	8	6	32,800
20	8	8	34,860
24	6	4	32,150
24	6	6	34,210
24	8	6	36,020
24	8	8	38,080
28	8	4	37,180
28	8	6	39,240
28	10	6	41,050
28	10	8	43,110

乗用車とミドルーフ車混在

全高 H(mm)	NM ミドルーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	16,360	18,170	19,980	21,790	23,600	25,410	27,220
16	17,970	19,780	21,590	23,400	25,210	27,020	28,830
18	19,580	21,390	23,200	25,010	26,820	28,630	30,440
20	21,190	23,000	24,810	26,620	28,430	30,240	32,050
22	22,800	24,610	26,420	28,230	30,040	31,850	33,660
24	24,410	26,220	28,030	29,840	31,650	33,460	35,270
26	26,020	27,830	29,640	31,450	33,260	35,070	36,880
28	27,630	29,440	31,250	33,060	34,870	36,680	38,490
30	29,240	31,050	32,860	34,670	36,480	38,290	40,100
32	30,850	32,660	34,470	36,280	38,090	39,900	41,710
34	32,460	34,270	36,080	37,890	39,700	41,510	43,320
36	34,070	35,880	37,690	39,500	41,310	43,120	44,930
38	35,680	37,490	39,300	41,110	42,920	44,730	-
40	37,290	39,100	40,910	42,720	44,530	-	-
42	38,900	40,710	42,520	44,330	-	-	-

乗用車とハイルフ車混在

全高 H(mm)	NH ハイルフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	16,610	18,670	20,730	22,790	24,850	26,910	28,970
16	18,220	20,280	22,340	24,400	26,460	28,520	30,580
18	19,830	21,890	23,950	26,010	28,070	30,130	32,190
20	21,440	23,500	25,560	27,620	29,680	31,740	33,800
22	23,050	25,110	27,170	29,230	31,290	33,350	35,410
24	24,660	26,720	28,780	30,840	32,900	34,960	37,020
26	26,270	28,330	30,390	32,450	34,510	36,570	38,630
28	27,880	29,940	32,000	34,060	36,120	38,180	40,240
30	29,490	31,550	33,610	35,670	37,730	39,790	41,850
32	31,100	33,160	35,220	37,280	39,340	41,400	43,460
34	32,710	34,770	36,830	38,890	40,950	43,010	45,070
36	34,320	36,380	38,440	40,500	42,560	44,620	-
38	35,930	37,990	40,050	42,110	44,170	-	-
40	37,540	39,600	41,660	43,720	-	-	-
42	39,150	41,210	43,270	-	-	-	-

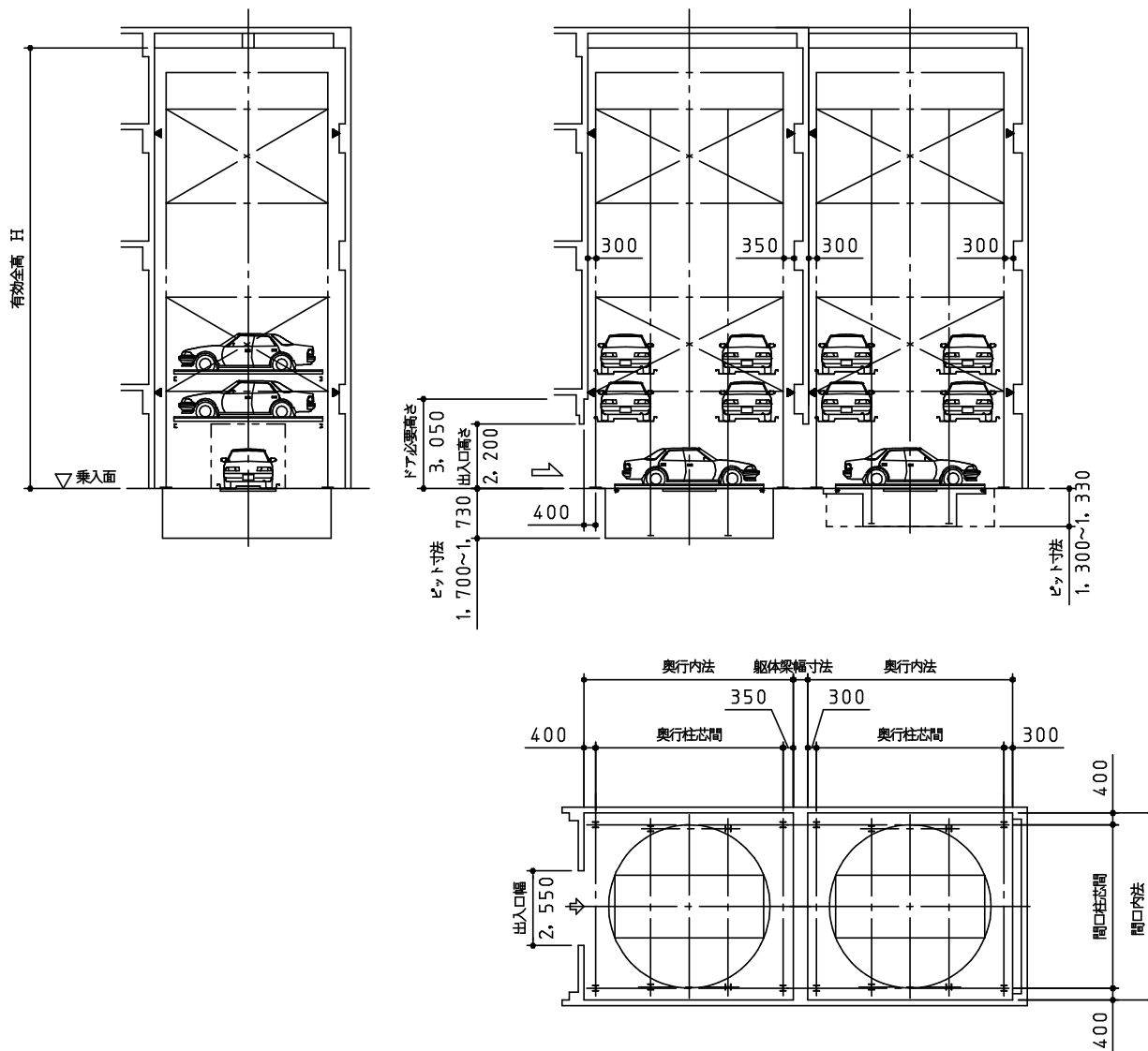
ミドルーフ車とハイルフ車混在

全高 H(mm)	NH ハイルフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	14
14	18,010	20,070	22,130	24,190	26,250	28,310	30,370
16	19,820	21,880	23,940	26,000	28,060	30,120	32,180
18	21,630	23,690	25,750	27,810	29,870	31,930	33,990
20	23,440	25,500	27,560	29,620	31,680	33,740	35,800
22	25,250	27,310	29,370	31,430	33,490	35,550	37,610
24	27,060	29,120	31,180	33,240	35,300	37,360	39,420
26	28,870	30,930	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230
28	30,680	32,740	34,800	36,860	38,920	40,980	43,040
30	32,490	34,550	36,610	38,670	40,730	42,790	44,850
32	34,300	36,360	38,420	40,480	42,540	44,600	-
34	36,110	38,170	40,230	42,290	44,350	-	-
36	37,920	39,980	42,040	44,100	-	-	-
38	39,730	41,790	43,850	-	-	-	-
40	41,540	43,600	-	-	-	-	-
42	43,350	-	-	-	-	-	-

注1) 寒冷地仕様(オプション)採用時は全高寸法(H)が各表+110mm必要となります。
注2) 連基の場合、屋根勾配取合い以上、全高寸法(H)が各表+300mm必要となります。

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式（分離型）

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)



注) 1. ⇨ ⇩ は、乗入方向を示します。
2. ▶ は、水平サポートを示します。

収容車タイプ	JX(中型車)	A(大型車)
項目		
間口内法 (mm)	6,380	6,680
奥行内法 (mm)	【入口側】7,220+躯体梁幅寸法 + 【奥側】7,070 (ドア必要高さより上部は7,120)	【入口側】7,520 + 躯体梁幅寸法 + 【奥側】7,370 (ドア必要高さより上部は7,420)
間口柱芯間 (mm)	5,580	5,880
奥行柱芯間 (mm)	6,470	6,770

- 注) 1) 間口、奥行内法寸法
鉄骨柱芯から躯体内法までの寸法は、地震時における建屋の変形量(1/200)から鉄骨柱断面を算定し、施工上の最小寸法から決めています。
建屋の変形量が1/200を超える場合は問い合わせ願います。
- 2) 水平サポート詳細はP59を参照下さい。
- 3) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は間口柱芯間、間口内法が上表+50mm必要となります。
- 4) 有効全高に消火ガス排出装置の寸法は含んでおりません。
上部に排出ファン、ダクトを設ける場合は+1,900必要になります。

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,530$	N : 乗用車台数 NM : ミドルーフ車台数 NH : ハイールーフ車台数 ()内の式はハイールーフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルーフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,560$	
ハイールーフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車とミドルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,560$	
乗用車とハイールーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
ミドルーフ車とハイールーフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車、ミドルーフ車とハイールーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)

ハイールーフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容

EW3□-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,410
18	18,020
20	19,630
22	21,240
24	22,850
26	24,460
28	26,070
30	27,680
32	29,290
34	30,900
36	32,510
38	34,120
40	35,730
42	37,340

ミドルーフ車のみ収容

EW3□M-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	18,040
18	19,850
20	21,660
22	23,470
24	25,280
26	27,090
28	28,900
30	30,710
32	32,520
34	34,330
36	36,140
38	37,950
40	39,760
42	41,570

ハイールーフ車のみ収容

EW3□H-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	20,040
18	22,100
20	24,160
22	26,220
24	28,280
26	30,340
28	32,400
30	34,460
32	36,520
34	38,580
36	40,640
38	42,700
40	44,760

3車種(乗用車、ミドルーフ車、ハイールーフ車)混在

EW3□-□/□M□/□H□T1*□T1-F

乗用車 N(台)	ミドルーフ車 NM(台)	ハイールーフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,900
12	4	4	20,960
12	6	4	22,770
12	6	6	24,830
16	4	2	22,120
16	4	4	24,180
16	6	4	25,990
16	6	6	28,050
20	6	4	29,210
20	6	6	31,270
20	8	6	33,080
20	8	8	35,140
24	6	4	32,430
24	6	6	34,490
24	8	6	36,300
24	8	8	38,360
28	8	4	37,460
28	8	6	39,520
28	10	6	41,330
28	10	8	43,390

乗用車とミドルーフ車混在

EW3□-□/□M□T1*□T1-F

全高 H(mm)	NM ミドルーフ車台数(台)							
	2	4	6	8	10	12	14	
N 乗用車台数 (台)	14	16,640	18,450	20,260	22,070	23,880	25,690	27,500
	16	18,250	20,060	21,870	23,680	25,490	27,300	29,110
	18	19,860	21,670	23,480	25,290	27,100	28,910	30,720
	20	21,470	23,280	25,090	26,900	28,710	30,520	32,330
	22	23,080	24,890	26,700	28,510	30,320	32,130	33,940
	24	24,690	26,500	28,310	30,120	31,930	33,740	35,550
	26	26,300	28,110	29,920	31,730	33,540	35,550	37,160
	28	27,910	29,720	31,530	33,340	35,150	36,960	38,770
	30	29,520	31,330	33,140	34,950	36,760	38,570	40,380
	32	31,130	32,940	34,750	36,560	38,370	40,180	41,990
	34	32,740	34,550	36,360	38,170	39,980	41,790	43,600
	36	34,350	36,160	37,970	39,780	41,590	43,400	45,210

注)寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は全高寸法(H)が各表+30mm必要となります。

乗用車とハイールーフ車混在

EW3□-□/□H□T1*□T1-F

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
N 乗用車台数 (台)	14	16,890	18,950	21,010	23,070	25,130	27,190
	16	18,500	20,560	22,620	24,680	26,740	28,800
	18	20,110	22,170	24,230	26,290	28,350	30,410
	20	21,720	23,780	25,840	27,900	29,960	32,020
	22	23,330	25,390	27,450	29,510	31,570	33,630
	24	24,940	27,000	29,060	31,120	33,180	35,240
	26	26,550	28,610	30,670	32,730	34,790	36,850
	28	28,160	30,220	32,280	34,340	36,400	38,460
	30	29,770	31,830	33,890	35,950	38,010	40,070
	32	31,380	33,440	35,500	37,560	39,620	41,680
	34	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230	43,290
	36	34,600	36,660	38,720	40,780	42,840	44,900

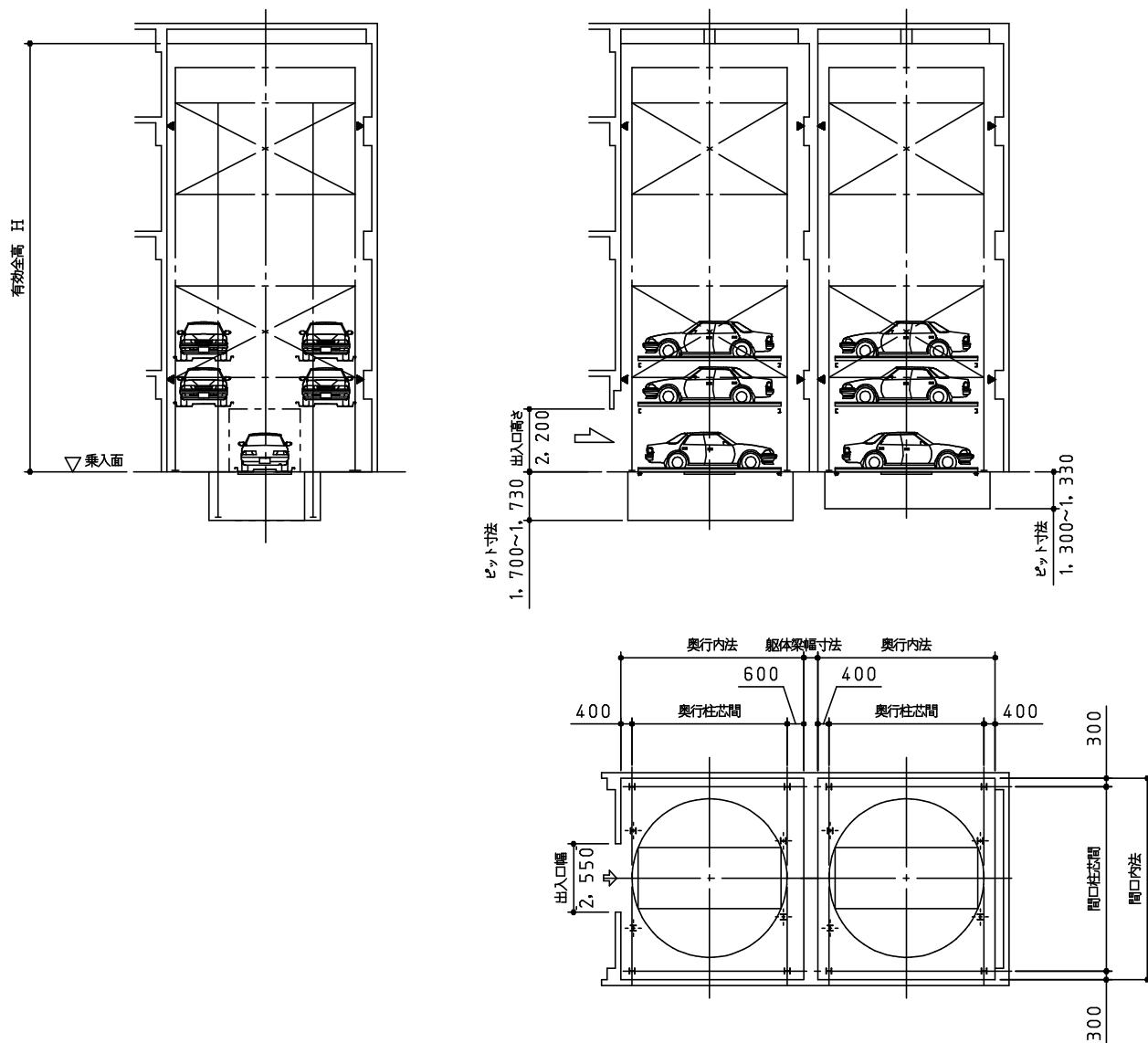
ミドルーフ車とハイールーフ車混在

EW3□M-□/□H□T1*□T1-F

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
NM ミドルーフ車台数 (台)	14	18,290	20,350	22,410	24,470	26,530	28,590
	16	20,100	22,160	24,220	26,280	28,340	30,400
	18	21,910	23,970	26,030	28,090	30,150	32,210
	20	23,720	25,780	27,840	29,900	31,960	34,020
	22	25,530	27,590	29,650	31,710	33,770	35,830
	24	27,340	29,400	31,460	33,520	35,580	37,640
	26	29,150	31,210	33,270	35,330	37,390	39,450
	28	30,960	33,020	35,080	37,140	39,200	41,260
	30	32,770	34,830	36,890	38,950	41,010	43,070
	32	34,580	36,640	38,700	40,760	42,820	44,880

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式（分離型）

ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)



注) 1. ⇨ ⇩ は、乗入方向を示します。
 2. ▶ は、水平サポートを示します。

収容車タイプ		JX(中型車)	A(大型車)
項目			
間口内法 (mm)		7,070	7,370
奥行内法 (mm)		【入口側】6,580 + 躯体梁幅寸法 + 【奥側】6,380	【入口側】6,880 + 躯体梁幅寸法 + 【奥側】6,680
間口柱芯間 (mm)		6,470	6,770
奥行柱芯間 (mm)		5,580	5,880

- 注) 1) 間口、奥行内法寸法
 鉄骨柱芯から躯体内法までの寸法は、地震時における建屋の変形量(1/200)から鉄骨柱断面を算定し、施工上の最小寸法から決めています。
 建屋の変形量が1/200を超える場合は問い合わせ願います。
- 2) 水平サポート詳細はP59を参照下さい。
- 3) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は奥行柱芯間、奥行内法が上表+50mm必要となります。
- 4) 有効全高に消火ガス排出装置の寸法は含んでおりません。
 上部に排出ファン、ダクトを設ける場合は+1,900必要になります。

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますのでお問い合わせ願います。

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,530$	N : 乗用車台数 NM : ミドルルーフ車台数 NH : ハイールーフ車台数 ()内の式はハイールーフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルルーフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,560$	
ハイールーフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車とミドルルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,560$	
乗用車とハイールーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
ミドルルーフ車とハイールーフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車、ミドルルーフ車とハイールーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)

ハイールーフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容

EW3□-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,410
18	18,020
20	19,630
22	21,240
24	22,850
26	24,460
28	26,070
30	27,680
32	29,290
34	30,900
36	32,510
38	34,120
40	35,730
42	37,340

ミドルルーフ車のみ収容

EW3□M-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	18,040
18	19,850
20	21,660
22	23,470
24	25,280
26	27,090
28	28,900
30	30,710
32	32,520
34	34,330
36	36,140
38	37,950
40	39,760
42	41,570

ハイールーフ車のみ収容

EW3□H-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	20,040
18	22,100
20	24,160
22	26,220
24	28,280
26	30,340
28	32,400
30	34,460
32	36,520
34	38,580
36	40,640
38	42,700
40	44,760

3車種(乗用車、ミドルルーフ車、ハイールーフ車)混在

EW3□-□/□M□/□H□T2*□T2-F

乗用車 N(台)	ミドルルーフ車 NM(台)	ハイールーフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,900
12	4	4	20,960
12	6	4	22,770
12	6	6	24,830
16	4	2	22,120
16	4	4	24,180
16	6	4	25,990
16	6	6	28,050
20	6	4	29,210
20	6	6	31,270
20	8	6	33,080
20	8	8	35,140
24	6	4	32,430
24	6	6	34,490
24	8	6	36,300
24	8	8	38,360
28	8	4	37,460
28	8	6	39,520
28	10	6	41,330
28	10	8	43,390

乗用車とミドルルーフ車混在

EW3□-□/□M□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NM ミドルルーフ車台数(台)							
	2	4	6	8	10	12	14	
N	14	16,640	18,450	20,260	22,070	23,880	25,690	27,500
	16	18,250	20,060	21,870	23,680	25,490	27,300	29,110
	18	19,860	21,670	23,480	25,290	27,100	28,910	30,720
	20	21,470	23,280	25,090	26,900	28,710	30,520	32,330
	22	23,080	24,890	26,700	28,510	30,320	32,130	33,940
	24	24,690	26,500	28,310	30,120	31,930	33,740	35,550
	26	26,300	28,110	29,920	31,730	33,540	35,350	37,160
	28	27,910	29,720	31,530	33,340	35,150	36,960	38,770
	30	29,520	31,330	33,140	34,950	36,760	38,570	40,380
	32	31,130	32,940	34,750	36,560	38,370	40,180	41,990
(台)	34	32,740	34,550	36,360	38,170	39,980	41,790	43,600
	36	34,350	36,160	37,970	39,780	41,590	43,400	45,210

注)寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)
採用時は全高寸法(H)が各表+30mm必要となります。

乗用車とハイールーフ車混在

EW3□-□/□H□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
N	14	16,890	18,950	21,010	23,070	25,130	27,190
	16	18,500	20,560	22,620	24,680	26,740	28,800
	18	20,110	22,170	24,230	26,290	28,350	30,410
	20	21,720	23,780	25,840	27,900	29,960	32,020
	22	23,330	25,390	27,450	29,510	31,570	33,630
	24	24,940	27,000	29,060	31,120	33,180	35,240
	26	26,550	28,610	30,670	32,730	34,790	36,850
	28	28,160	30,220	32,280	34,340	36,400	38,460
	30	29,770	31,830	33,890	35,950	38,010	40,070
	32	31,380	33,440	35,500	37,560	39,620	41,680
(台)	34	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230	43,290
	36	34,600	36,660	38,720	40,780	42,840	44,900

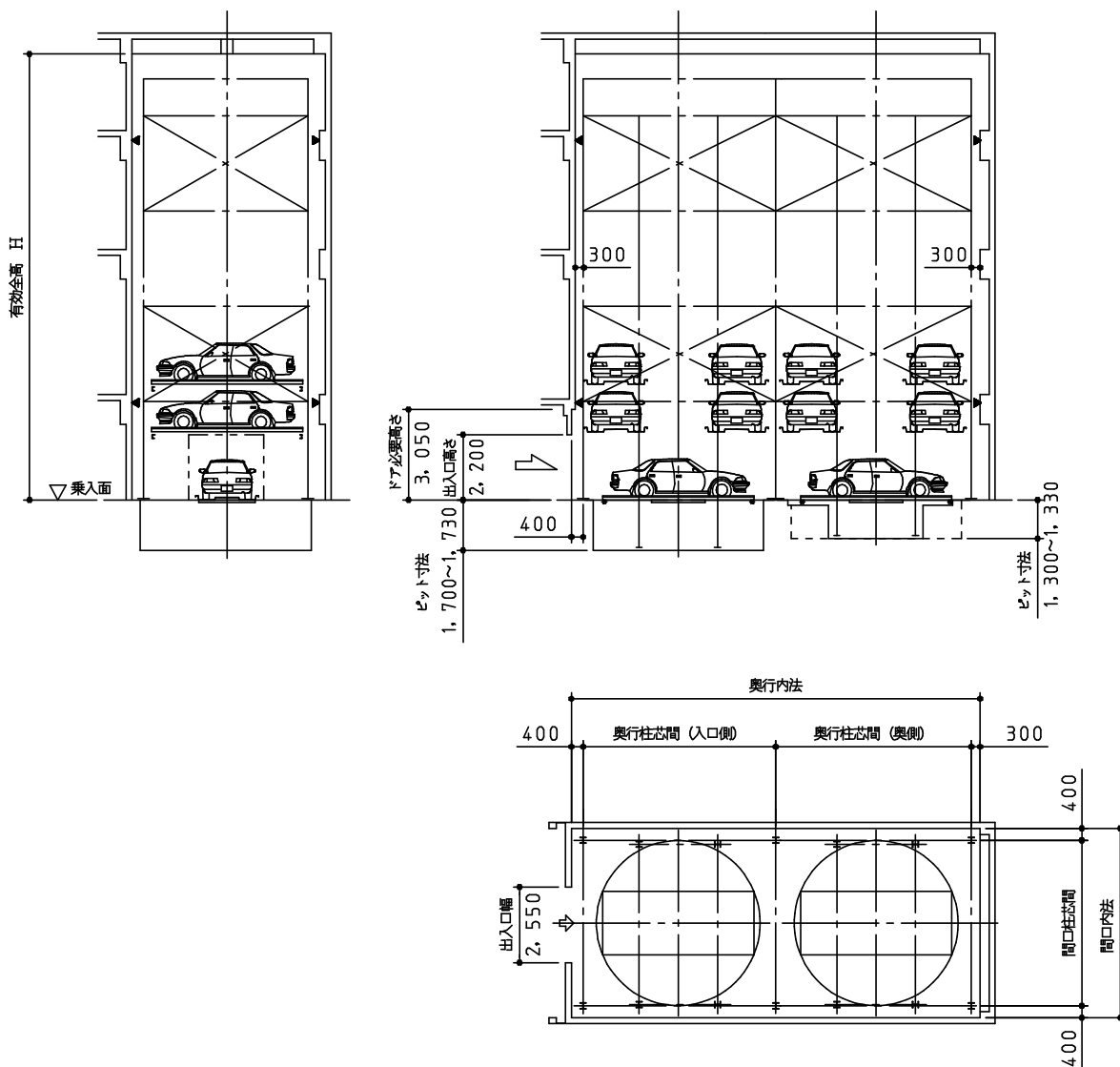
ミドルルーフ車とハイールーフ車混在

EW3□M-□/□H□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NH ハイールーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
NM	14	18,290	20,350	22,410	24,470	26,530	28,590
	16	20,100	22,160	24,220	26,280	28,340	30,400
	18	21,910	23,970	26,030	28,090	30,150	32,210
	20	23,720	25,780	27,840	29,900	31,960	34,020
	22	25,530	27,590	29,650	31,710	33,770	35,830
	24	27,340	29,400	31,460	33,520	35,580	37,640
	26	29,150	31,210	33,270	35,330	37,390	39,450
	28	30,960	33,020	35,080	37,140	39,200	41,260
	30	32,770	34,830	36,890	38,950	41,010	43,070
(台)	32	34,580	36,640	38,700	40,760	42,820	44,880

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自動縦列式（一体型）

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ)



注) 1. ⇨ ⇩ ⇨ は、乗入方向を示します。
 2. ▶ は、水平サポートを示します。

収容車タイプ	JX(中型車)	A(大型車)
項目		
間口内法 (mm)	6,380	6,680
奥行内法 (mm)	13,900(ドア必要高さより上部は13,800)	14,500(ドア必要高さより上部は14,400)
間口柱芯間 (mm)	5,580	5,880
奥行柱芯間 (mm)	【入口側】6,550 + 【奥側】6,650	【入口側】6,850 + 【奥側】6,950

- 注) 1) 間口、奥行内法寸法
 鉄骨柱芯から躯体内法までの寸法は、地震時における建屋の変形量(1/200)から鉄骨柱断面を算定し、施工上の最小寸法から決めています。
 建屋の変形量が1/200を超える場合は問い合わせ願います。
- 2) 水平サポート詳細はP59を参照下さい。
- 3) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は間口柱芯間、間口内法が上表+50mm必要となります。
- 4) 有効全高に消火ガス排出装置の寸法は含んでおりません。
 上部に排出ファン、ダクトを設ける場合は+1,900必要になります。

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますので問い合わせ願います。

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,530$	N : 乗用車台数 NM : ミドルーフ車台数 NH : ハイルーフ車台数 ()内の式はハイルーフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルーフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,560$	
ハイルーフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車とミドルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,560$	
乗用車とハイルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
ミドルーフ車とハイルーフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車、ミドルーフ車とハイルーフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)ハイルーフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容
EW3□-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,410
18	18,020
20	19,630
22	21,240
24	22,850
26	24,460
28	26,070
30	27,680
32	29,290
34	30,900
36	32,510
38	34,120
40	35,730
42	37,340

ミドルーフ車のみ収容
EW3□M-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	18,040
18	19,850
20	21,660
22	23,470
24	25,280
26	27,090
28	28,900
30	30,710
32	32,520
34	34,330
36	36,140
38	37,950
40	39,760
42	41,570

ハイルーフ車のみ収容
EW3□H-□T1*□T1-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	20,040
18	22,100
20	24,160
22	26,220
24	28,280
26	30,340
28	32,400
30	34,460
32	36,520
34	38,580
36	40,640
38	42,700
40	44,760

3車種(乗用車、ミドルーフ車、ハイルーフ車)混在
EW3□-□/□M□/□H□T1*□T1-F

乗用車 N(台)	ミドルーフ車 NM(台)	ハイルーフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,900
12	4	4	20,960
12	6	4	22,770
12	6	6	24,830
16	4	2	22,120
16	4	4	24,180
16	6	4	25,990
16	6	6	28,050
20	6	4	29,210
20	6	6	31,270
20	8	6	33,080
20	8	8	35,140
24	6	4	32,430
24	6	6	34,490
24	8	6	36,300
24	8	8	38,360
28	8	4	37,460
28	8	6	39,520
28	10	6	41,330
28	10	8	43,390

乗用車とミドルーフ車混在
EW3□-□/□M□T1*□T1-F

全高 H(mm)	NM ミドルーフ車台数(台)							
	2	4	6	8	10	12	14	
乗用車台数 (台)	14	16,640	18,450	20,260	22,070	23,880	25,690	27,500
	16	18,250	20,060	21,870	23,680	25,490	27,300	29,110
	18	19,860	21,670	23,480	25,290	27,100	28,910	30,720
	20	21,470	23,280	25,090	26,900	28,710	30,520	32,330
	22	23,080	24,890	26,700	28,510	30,320	32,130	33,940
	24	24,690	26,500	28,310	30,120	31,930	33,740	35,550
	26	26,300	28,110	29,920	31,730	33,540	35,350	37,160
	28	27,910	29,720	31,530	33,340	35,150	36,960	38,770
	30	29,520	31,330	33,140	34,950	36,760	38,570	40,380
	32	31,130	32,940	34,750	36,560	38,370	40,180	41,990
	34	32,740	34,550	36,360	38,170	39,980	41,790	43,600
	36	34,350	36,160	37,970	39,780	41,590	43,400	45,210

注) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は全高寸法(H)が各表+30mm必要となります。

乗用車とハイルーフ車混在
EW3□-□/□H□T1*□T1-F

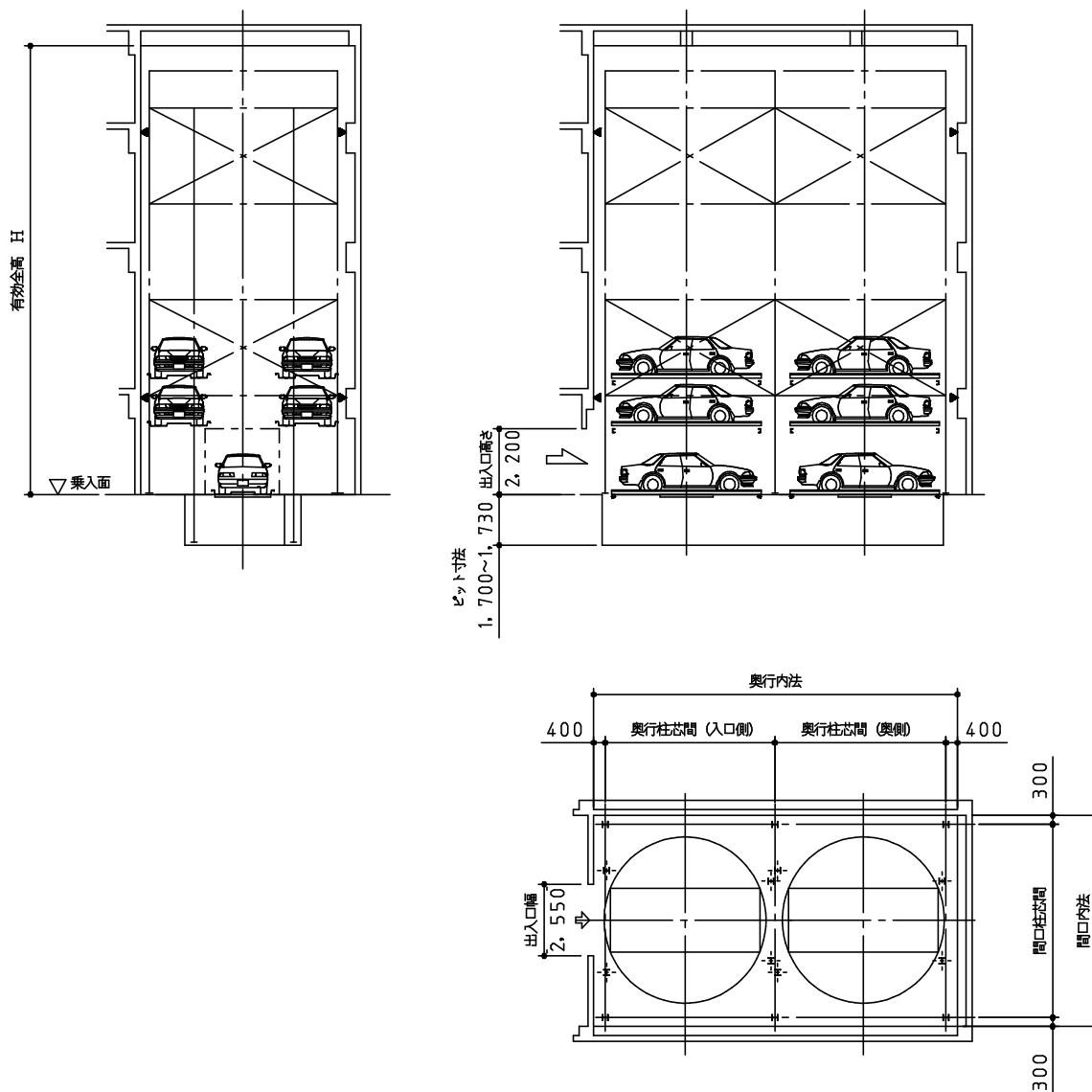
全高 H(mm)	NH ハイルーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
乗用車台数 (台)	14	16,890	18,950	21,010	23,070	25,130	27,190
	16	18,500	20,560	22,620	24,680	26,740	28,800
	18	20,110	22,170	24,230	26,290	28,350	30,410
	20	21,720	23,780	25,840	27,900	29,960	32,020
	22	23,330	25,390	27,450	29,510	31,570	33,630
	24	24,940	27,000	29,060	31,120	33,180	35,240
	26	26,550	28,610	30,670	32,730	34,790	36,850
	28	28,160	30,220	32,280	34,340	36,400	38,460
	30	29,770	31,830	33,890	35,950	38,010	40,070
	32	31,380	33,440	35,500	37,560	39,620	41,680
	34	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230	43,290
	36	34,600	36,660	38,720	40,780	42,840	44,900

ミドルーフ車とハイルーフ混在
EW3□M-□/□H□T1*□T1-F

全高 H(mm)	NH ハイルーフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
NM ミドルーフ車台数 (台)	14	18,290	20,350	22,410	24,470	26,530	28,590
	16	20,100	22,160	24,220	26,280	28,340	30,400
	18	21,910	23,970	26,030	28,090	30,150	32,210
	20	23,720	25,780	27,840	29,900	31,960	34,020
	22	25,530	27,590	29,650	31,710	33,770	35,830
	24	27,340	29,400	31,460	33,520	35,580	37,640
	26	29,150	31,210	33,270	35,330	37,390	39,450
	28	30,960	33,020	35,080	37,140	39,200	41,260
	30	32,770	34,830	36,890	38,950	41,010	43,070
	32	34,580	36,640	38,700	40,760	42,820	44,880

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式（一体型）

ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ)



注) 1. ⇨ ⇩ は、乗入方向を示します。
 2. ▶ は、水平サポートを示します。

収容車タイプ	JX(中型車)	A(大型車)
項目		
間口内法 (mm)	7,070	7,370
奥行内法 (mm)	12,510	13,110
間口柱芯間 (mm)	6,470	6,770
奥行柱芯間 (mm)	【入口側】5,830 + 【奥側】5,880	【入口側】6,130 + 【奥側】6,180

- 注) 1) 間口、奥行内法寸法
 鉄骨柱芯から躯体内法までの寸法は、地震時における建屋の変形量(1/200)から鉄骨柱断面を算定し、施工上の最小寸法から決めています。
 建屋の変形量が1/200を超える場合は問い合わせ願います。
- 2) 水平サポート詳細はP59を参照下さい。
- 3) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)採用時は奥行柱芯間が各々+50mm、奥行内法が上表+100mm必要となります。
- 4) 有効全高に消火ガス排出装置の寸法は含んでおりません。
 上部に排出ファン、ダクトを設ける場合は+1,900必要になります。

立駐全高寸法計算式〔JX(中型車)、A(大型車)共通〕

立駐全高Hが45mを超える場合は寸法が異なりますのでお問い合わせ願います。

乗用車のみ	$H=1,610 \times N/2+3,530$	N : 乗用車台数 NM : ミドルルフ車台数 NH : ハイルフ車台数 ()内の式はハイルフ車の車高を2,100mmにした場合 N、NM、NHは必ず偶数です
ミドルルフ車のみ	$H=1,810 \times NM/2+3,560$	
ハイルフ車のみ	$H=2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車とミドルルフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+3,560$	
乗用車とハイルフ車混在	$H=1,610 \times N/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
ミドルルフ車とハイルフ車混在	$H=1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	
乗用車、ミドルルフ車とハイルフ車混在	$H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,060 \times NH/2+3,560$ ($H=1,610 \times N/2+1,810 \times NM/2+2,160 \times NH/2+3,660$)	

立駐全高寸法例(下記以外の組合せも可能です。但し、車高2,000mmと2,100mmの混在はできません。)

ハイルフ車の車高は2,000mmで計算しています。収容台数は入口側(奥側)のみの台数を示します。

乗用車のみ収容

EW3□-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	16,410
18	18,020
20	19,630
22	21,240
24	22,850
26	24,460
28	26,070
30	27,680
32	29,290
34	30,900
36	32,510
38	34,120
40	35,730
42	37,340

ミドルルフ車のみ収容

EW3□M-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	18,040
18	19,850
20	21,660
22	23,470
24	25,280
26	27,090
28	28,900
30	30,710
32	32,520
34	34,330
36	36,140
38	37,950
40	39,760
42	41,570

ハイルフ車のみ収容

EW3□H-□T2*□T2-F

収容台数 N(台)	立駐全高 H(mm)
16	20,040
18	22,100
20	24,160
22	26,220
24	28,280
26	30,340
28	32,400
30	34,460
32	36,520
34	38,580
36	40,640
38	42,700
40	44,760

3車種(乗用車、ミドルルフ車、ハイルフ車)混在

EW3□-□/□M□/□H□T2*□T2-F

乗用車 N(台)	ミドルルフ車 NM(台)	ハイルフ車 NH(台)	立駐全高 H(mm)
12	4	2	18,900
12	4	4	20,960
12	6	4	22,770
12	6	6	24,830
16	4	2	22,120
16	4	4	24,180
16	6	4	25,990
16	6	6	28,050
20	6	4	29,210
20	6	6	31,270
20	8	6	33,080
20	8	8	35,140
24	6	4	32,430
24	6	6	34,490
24	8	6	36,300
24	8	8	38,360
28	8	4	37,460
28	8	6	39,520
28	10	6	41,330
28	10	8	43,390

乗用車とミドルルフ車混在

EW3□-□/□M□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NM ミドルルフ車台数(台)							
	2	4	6	8	10	12	14	
N 乗用車 台数 (台)	14	16,640	18,450	20,260	22,070	23,880	25,690	27,500
	16	18,250	20,060	21,870	23,680	25,490	27,300	29,110
	18	19,860	21,670	23,480	25,290	27,100	28,910	30,720
	20	21,470	23,280	25,090	26,900	28,710	30,520	32,330
	22	23,080	24,890	26,700	28,510	30,320	32,130	33,940
	24	24,690	26,500	28,310	30,120	31,930	33,740	35,550
	26	26,300	28,110	29,920	31,730	33,540	35,350	37,160
	28	27,910	29,720	31,530	33,340	35,150	36,960	38,770
	30	29,520	31,330	33,140	34,950	36,760	38,570	40,380
	32	31,130	32,940	34,750	36,560	38,370	40,180	41,990
	34	32,740	34,550	36,360	38,170	39,980	41,790	43,600
	36	34,350	36,160	37,970	39,780	41,590	43,400	45,210

注) 寒冷地におけるパレット排水仕様(オプション)
採用時は全高寸法(H)が各表+30mm必要となります。

乗用車とハイルフ車混在

EW3□-□/□H□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NH ハイルフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
N 乗用車 台数 (台)	14	16,890	18,950	21,010	23,070	25,130	27,190
	16	18,500	20,560	22,620	24,680	26,740	28,800
	18	20,110	22,170	24,230	26,290	28,350	30,410
	20	21,720	23,780	25,840	27,900	29,960	32,020
	22	23,330	25,390	27,450	29,510	31,570	33,630
	24	24,940	27,000	29,060	31,120	33,180	35,240
	26	26,550	28,610	30,670	32,730	34,790	36,850
	28	28,160	30,220	32,280	34,340	36,400	38,460
	30	29,770	31,830	33,890	35,950	38,010	40,070
	32	31,380	33,440	35,500	37,560	39,620	41,680
	34	32,990	35,050	37,110	39,170	41,230	43,290
	36	34,600	36,660	38,720	40,780	42,840	44,900

ミドルルフ車とハイルフ車混在

EW3□M-□/□H□T2*□T2-F

全高 H(mm)	NH ハイルフ車台数(台)						
	2	4	6	8	10	12	
NM ミドルルフ車 台数 (台)	14	18,290	20,350	22,410	24,470	26,530	28,590
	16	20,100	22,160	24,220	26,280	28,340	30,400
	18	21,910	23,970	26,030	28,090	30,150	32,210
	20	23,720	25,780	27,840	29,900	31,960	34,020
	22	25,530	27,590	29,650	31,710	33,770	35,830
	24	27,340	29,400	31,460	33,520	35,580	37,640
	26	29,150	31,210	33,270	35,330	37,390	39,450
	28	30,960	33,020	35,080	37,140	39,200	41,260
	30	32,770	34,830	36,890	38,950	41,010	43,070
	32	34,580	36,640	38,700	40,760	42,820	44,880

EW2JX-T1-F〔乗用車(JX)90° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

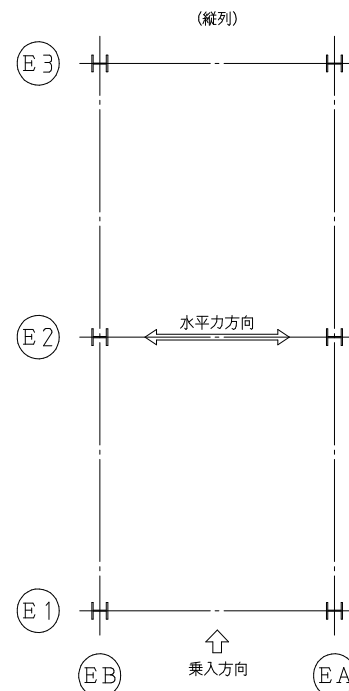
収容台数 (台)	立駐全高 H (mm)	長期荷重 (静止満車時)		短期荷重((E1)(E2)(E3)通り構面方向のみ示します。)												収容台数 (台)
				地震時						風圧時						
				(E1)(E3)通り			(E2)通り			(E1)(E3)通り			(E2)通り			
				圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	
16×2	16,130	134	185	316	-49	46	508	-137	88	241	4	34	389	-40	64	16×2
18×2	17,740	146	202	366	-74	51	590	-186	96	280	-13	39	455	-76	73	18×2
20×2	19,350	159	218	420	-102	55	678	-242	105	322	-32	43	526	-118	82	20×2
22×2	20,960	171	234	477	-134	60	773	-304	113	367	-55	48	604	-166	91	22×2
24×2	22,570	184	251	537	-169	64	872	-371	122	415	-81	53	688	-220	100	24×2
26×2	24,180	196	267	599	-206	68	975	-441	129	466	-110	58	778	-280	110	26×2
28×2	25,790	209	283	663	-245	72	1,081	-515	137	521	-143	63	873	-346	119	28×2
30×2	27,400	221	299	728	-286	76	1,190	-591	144	579	-178	68	975	-418	128	30×2
32×2	29,010	234	316	794	-327	79	1,299	-668	150	640	-217	73	1,083	-496	138	32×2
34×2	30,620	246	332	860	-368	83	1,409	-745	156	704	-259	78	1,197	-580	147	34×2
36×2	32,230	267	358	948	-414	87	1,544	-828	164	786	-302	84	1,327	-660	157	36×2
38×2	33,840	280	375	1,014	-454	89	1,653	-903	168	857	-350	89	1,453	-756	167	38×2
40×2	35,450	293	392	1,077	-491	91	1,757	-974	171	931	-402	94	1,585	-857	176	40×2

EW2A-T1-F〔乗用車(A)90° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

収容台数 (台)	立駐全高 H (mm)	長期荷重 (静止満車時)		短期荷重((E1)(E2)(E3)通り構面方向のみ示します。)												収容台数 (台)
				地震時						風圧時						
				(E1)(E3)通り			(E2)通り			(E1)(E3)通り			(E2)通り			
				圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	
16×2	16,130	143	198	331	-45	50	532	-137	95	250	10	35	400	-31	67	16×2
18×2	17,740	156	215	383	-71	55	618	-188	105	289	-6	40	466	-66	76	18×2
20×2	19,350	170	232	439	-100	60	711	-246	114	332	-25	45	539	-107	86	20×2
22×2	20,960	183	250	499	-133	65	810	-310	124	377	-47	50	617	-153	95	22×2
24×2	22,570	196	267	561	-168	70	914	-380	133	426	-72	55	702	-206	105	24×2
26×2	24,180	210	284	626	-206	74	1,022	-453	141	478	-100	60	792	-265	114	26×2
28×2	25,790	223	302	693	-246	79	1,133	-529	149	533	-132	66	889	-330	124	28×2
30×2	27,400	237	319	761	-287	83	1,246	-608	157	591	-167	71	991	-401	134	30×2
32×2	29,010	250	336	829	-329	86	1,361	-688	164	653	-205	76	1,100	-478	144	32×2
34×2	30,620	263	354	898	-371	90	1,476	-769	170	718	-246	81	1,214	-561	154	34×2
36×2	32,230	285	381	988	-418	95	1,616	-854	178	799	-287	88	1,344	-640	164	36×2
38×2	33,840	299	399	1,057	-459	97	1,729	-931	183	871	-334	93	1,471	-734	174	38×2
40×2	35,450	313	417	1,123	-497	99	1,839	-1,005	187	946	-385	98	1,603	-834	184	40×2

注) 上表の各数値は、次の荷重条件での値を示します。

- 地震時は1次設計時とし、地域係数 Z=1.0、地盤種別第2種、CO=0.25としています。
但し、CO=0.2を採用する地域もあるため行政に確認してください。
- 風圧時は、VO=34m/s、地表面粗度区分3としています。
短期荷重風圧時の引抜のみ、最も不利となる長期の静止空車時との組み合わせとしています。
尚、長期静止空車時の値は、満車時から下記の値を差し引いた値となります。
単基と連基のEA、ECは55kN、連基は60kN
- 積雪荷重は含みません。
- 数値の+は下向き、-は上向きの方向を示します。
- 収容台数14台以下はお問い合わせ下さい。
- 棚柱の荷重については、P33、34を参照下さい。



EW2JX-T2-F〔乗用車(JX)180° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

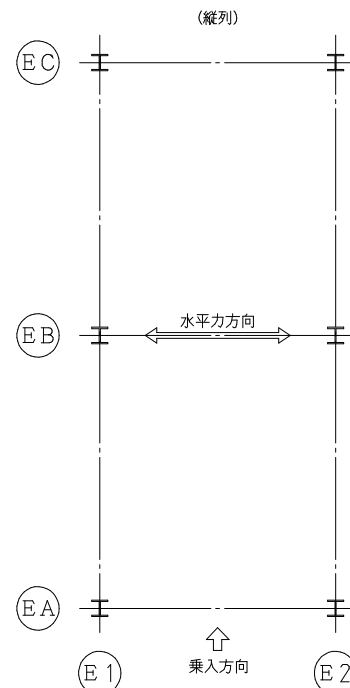
収容台数 (台)	立駐全高 H (mm)	長期荷重 (静止満車時)		短期荷重(EA EB EC 通り構面方向のみ示します。)												収容台数 (台)
				地震時						風圧時						
		(EA)EC 通り			(EB) 通り			(EA)EC 通り			(EB) 通り					
		圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力			
16×2	16,130	133	181	296	-29	46	465	-103	87	219	25	30	342	-3	57	16×2
18×2	17,740	146	197	351	-60	51	539	-145	96	252	14	35	397	-28	65	18×2
20×2	19,350	158	213	402	-85	55	618	-192	104	288	1	39	457	-59	73	20×2
22×2	20,960	171	229	456	-114	60	703	-245	113	327	-16	43	522	-94	81	22×2
24×2	22,570	183	245	512	-146	64	792	-302	121	368	-35	48	591	-135	89	24×2
26×2	24,180	196	261	571	-179	68	884	-362	129	411	-56	52	665	-180	97	26×2
28×2	25,790	208	277	631	-214	72	979	-426	136	457	-80	56	744	-229	106	28×2
30×2	27,400	221	293	692	-251	76	1,076	-491	143	506	-106	61	828	-284	114	30×2
32×2	29,010	233	309	754	-288	79	1,174	-557	149	557	-135	65	916	-343	123	32×2
34×2	30,620	246	325	816	-325	82	1,273	-623	155	611	-167	70	1,009	-407	131	34×2
36×2	32,230	267	350	897	-364	87	1,395	-694	163	680	-197	75	1,117	-466	140	36×2
38×2	33,840	279	367	959	-400	89	1,492	-758	167	740	-234	80	1,220	-539	148	38×2
40×2	35,450	292	383	1,018	-434	91	1,585	-818	170	802	-273	85	1,327	-617	157	40×2

EW2A-T2-F〔乗用車(A)180° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

収容台数 (台)	立駐全高 H (mm)	長期荷重 (静止満車時)		短期荷重(EA EB EC 通り構面方向のみ示します。)												収容台数 (台)
				地震時						風圧時						
		(EA)EC 通り			(EB) 通り			(EA)EC 通り			(EB) 通り					
		圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力	圧縮	引抜	水平力			
16×2	16,130	142	193	319	-34	50	490	-103	95	228	30	32	355	6	60	16×2
18×2	17,740	156	210	369	-57	55	567	-147	104	263	20	36	411	-20	68	18×2
20×2	19,350	169	227	422	-84	60	651	-197	113	299	6	41	473	-50	77	20×2
22×2	20,960	182	244	478	-113	65	740	-252	123	339	-9	45	538	-85	85	22×2
24×2	22,570	196	261	537	-145	70	834	-312	132	381	-28	50	609	-125	94	24×2
26×2	24,180	209	278	598	-180	74	931	-375	140	425	-49	54	685	-170	102	26×2
28×2	25,790	223	295	661	-216	79	1,031	-441	148	472	-72	59	765	-219	111	28×2
30×2	27,400	236	312	726	-253	83	1,134	-509	156	522	-98	64	850	-274	120	30×2
32×2	29,010	249	329	790	-292	86	1,237	-578	163	574	-127	69	940	-333	129	32×2
34×2	30,620	263	346	855	-330	90	1,341	-648	169	629	-158	73	1,035	-396	138	34×2
36×2	32,230	285	373	939	-370	94	1,467	-721	177	699	-188	79	1,144	-455	147	36×2
38×2	33,840	299	391	1,003	-406	97	1,569	-788	182	760	-224	84	1,248	-528	156	38×2
40×2	35,450	312	408	1,066	-441	99	1,668	-851	186	823	-262	89	1,357	-605	165	40×2

注) 上表の各数値は、次の荷重条件での値を示します。

- 1) 地震時は1次設計時とし、地域係数 Z=1.0、地盤種別第2種、CO=0.25としています。
但し、CO=0.2を採用する地域もあるため行政に確認してください。
- 2) 風圧時は、VO=34m/s、地表面粗度区分3としています。
短期荷重風圧時の引抜のみ、最も不利となる長期の静止空車時との組み合わせとしています。
尚、長期静止空車時の値は、満車時から下記の値を差し引いた値となります。
単基と連基のEA、ECは57kN、連基は62kN
- 3) 積雪荷重は含みません。
- 4) 数値の+は下向き、-は上向きの方向を示します。
- 5) 収容台数14台以下はお問い合わせ下さい。
- 6) 棚柱の荷重については、P35、36を参照下さい。



EW3JX-T1-F[90° 乗入れ] (kN/1柱脚当たり)

(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)
	C1
20	93
30	141
31	146
35	164
40	187
45	211

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合わせ願います。

F1A、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P33を参照下さい。

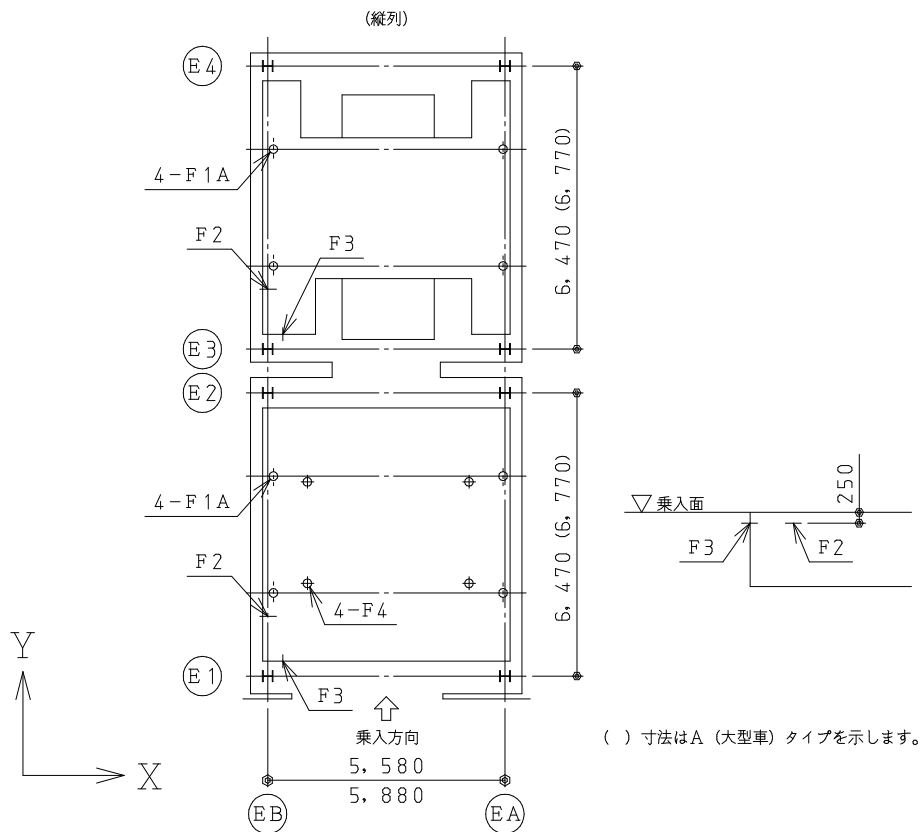
EW3A-T1-F[90° 乗入れ] (kN/1柱脚当たり)

(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)
	C1
20	101
30	153
31	159
35	178
40	204
45	230

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合わせ願います。

F1A、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P34を参照下さい。



EW3JX-T2-F〔180° 乗入れ〕 (kN/1柱脚当たり)

(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)
	C1
20	93
30	141
31	146
35	164
40	187
45	211

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合わせ願います。

F1A、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P35を参照下さい。

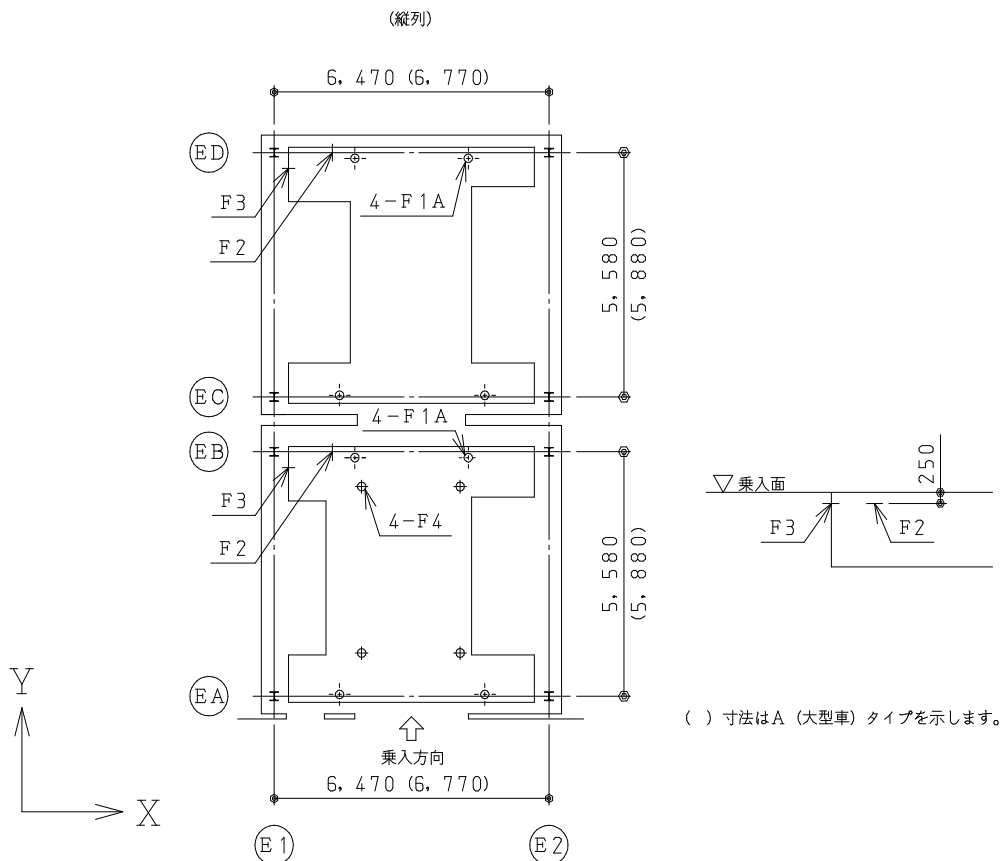
EW3A-T2-F〔180° 乗入れ〕 (kN/1柱脚当たり)

(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)
	C1
20	101
30	153
31	159
35	178
40	204
45	230

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合わせ願います。

F1A、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P36を参照下さい。



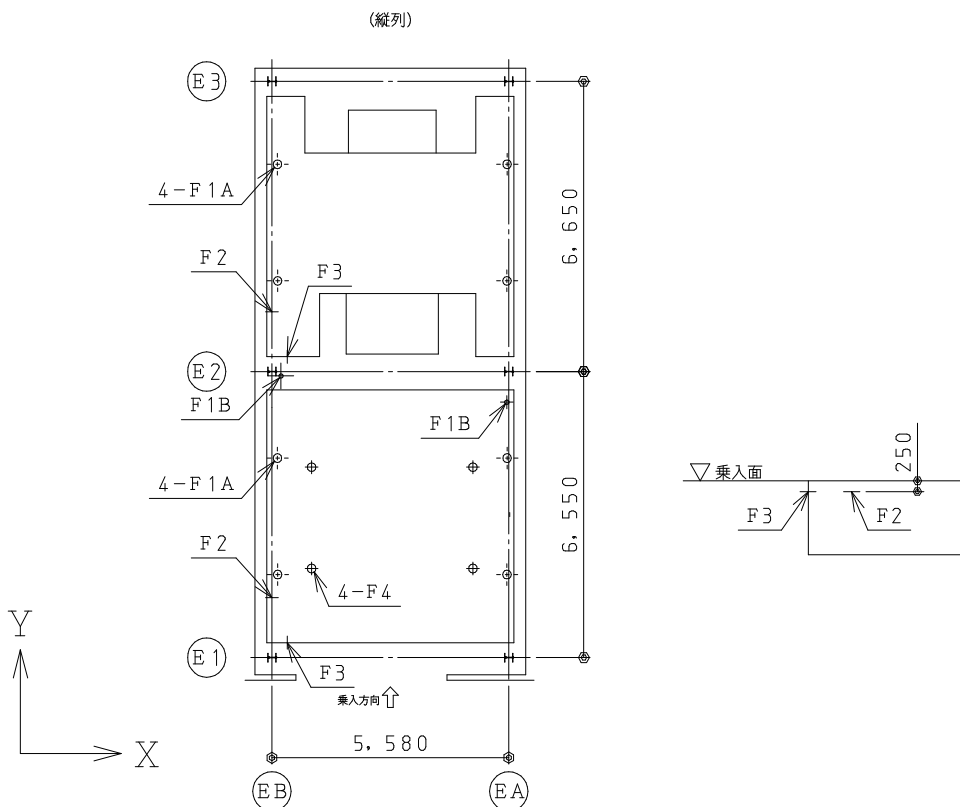
EW3JX-T1-F[90° 乗入れ]縦列 (kN/1柱脚当たり)

(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)	
	C1	C2
20	94	125
30	143	185
31	148	192
35	166	214
40	189	243
45	213	273

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合せ願います。

F1A、F1B、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P33を参照下さい。



EW3A-T1-F〔90° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

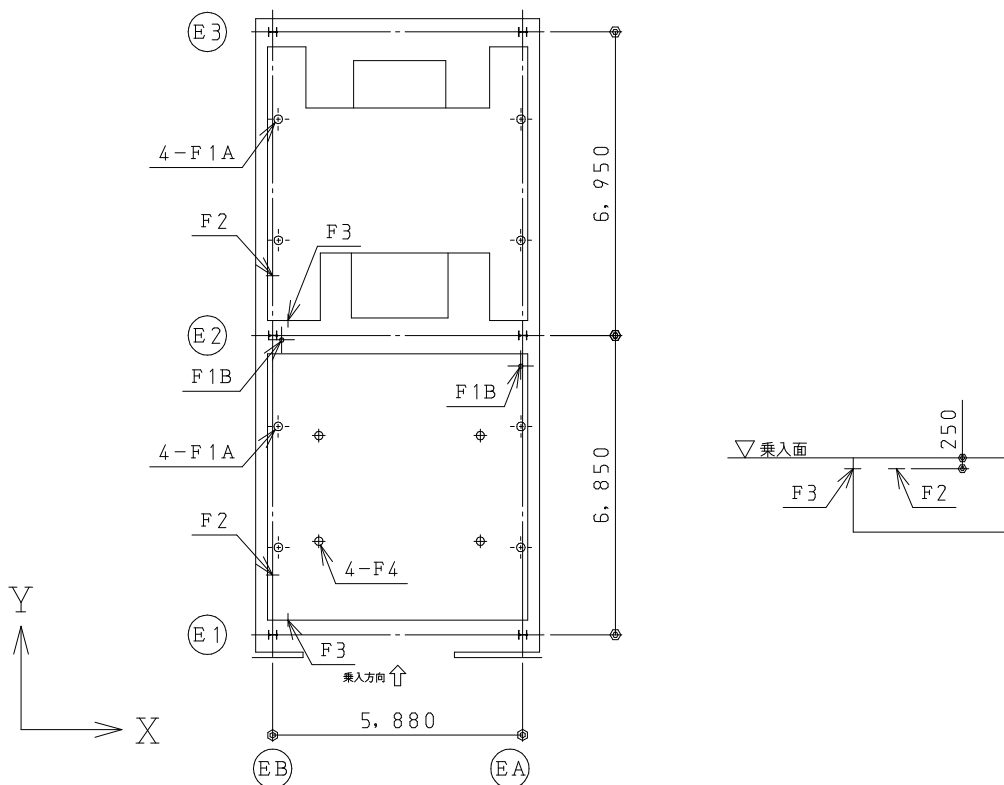
(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)	
	C1	C2
20	101	133
30	154	199
31	161	207
35	180	231
40	205	262
45	232	295

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合せ願います。

F1A、F1B、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P34を参照下さい。

(縦列)



EW3JX-T2-F〔180° 乗入れ〕縦列 (kN/1柱脚当たり)

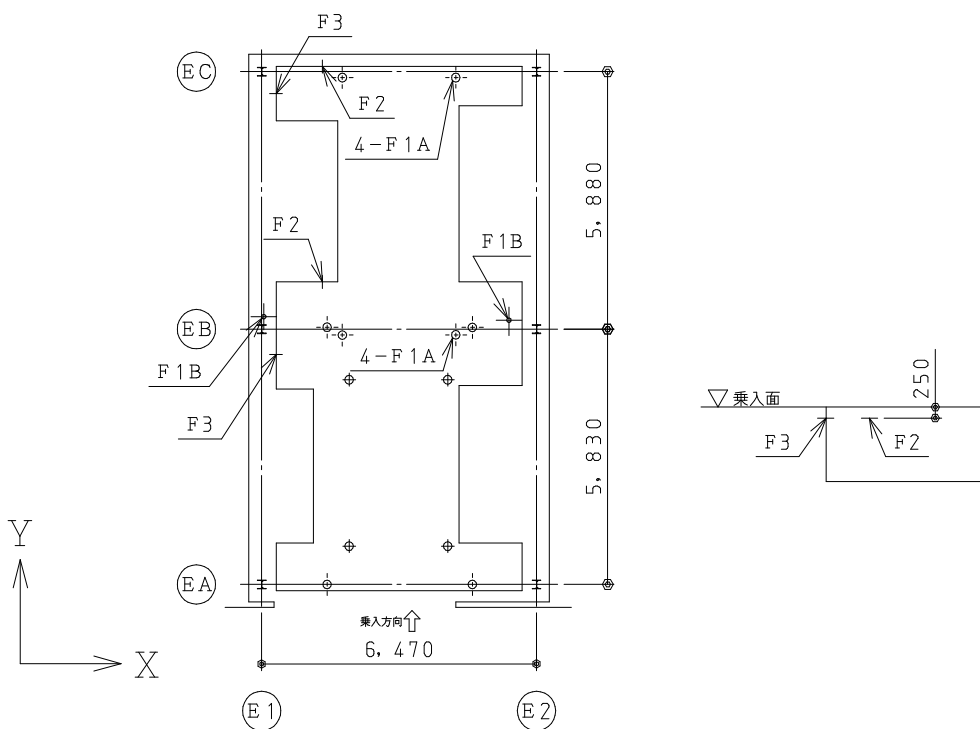
(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)	
	C1	C2
20	95	124
30	143	185
31	149	191
35	167	214
40	190	243
45	214	272

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、都度問い合わせ願います。

F1A、F1B、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P35を参照下さい。

(縦列)



EW3A-T2-F[180° 乗入れ]縦列 (kN/1柱脚当たり)

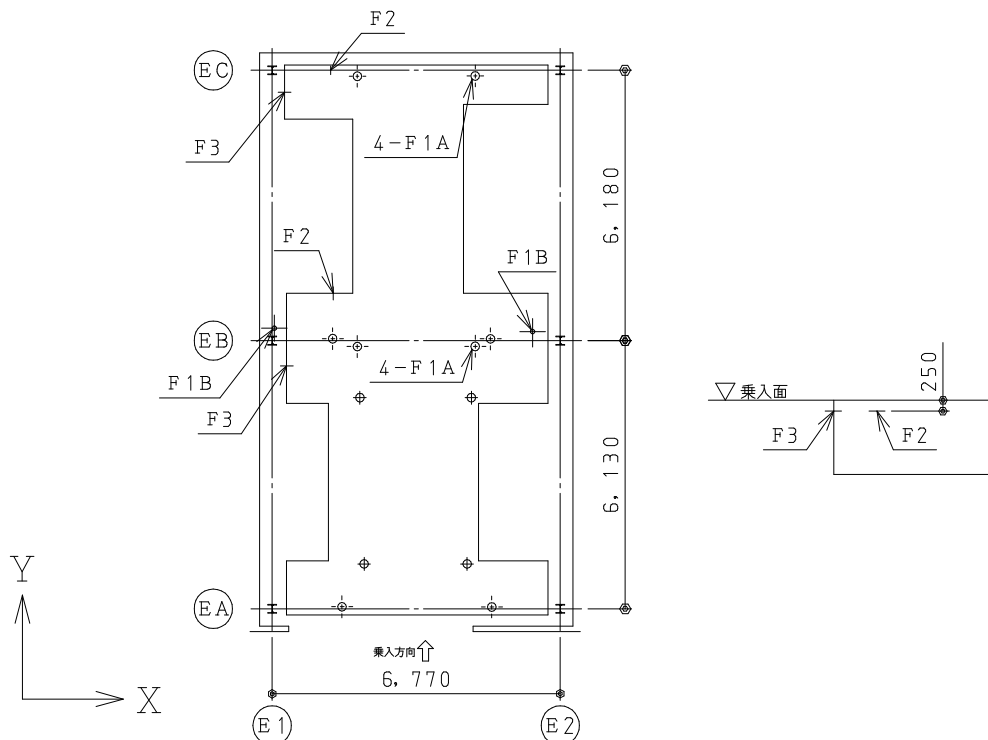
(単位:kN)

有効全高 (m)	長期荷重 (静止満車時)	
	C1	C2
20	102	133
30	155	199
31	161	206
35	180	230
40	206	262
45	232	295

注) 荷重は長期荷重のみを示します。
地震時の荷重は、建屋の変形に応じて異なるため、
都度問い合わせ願います。

F1A、F1B、F2、F3、F4の荷重については、
棚柱の柱脚荷重P36を参照下さい。

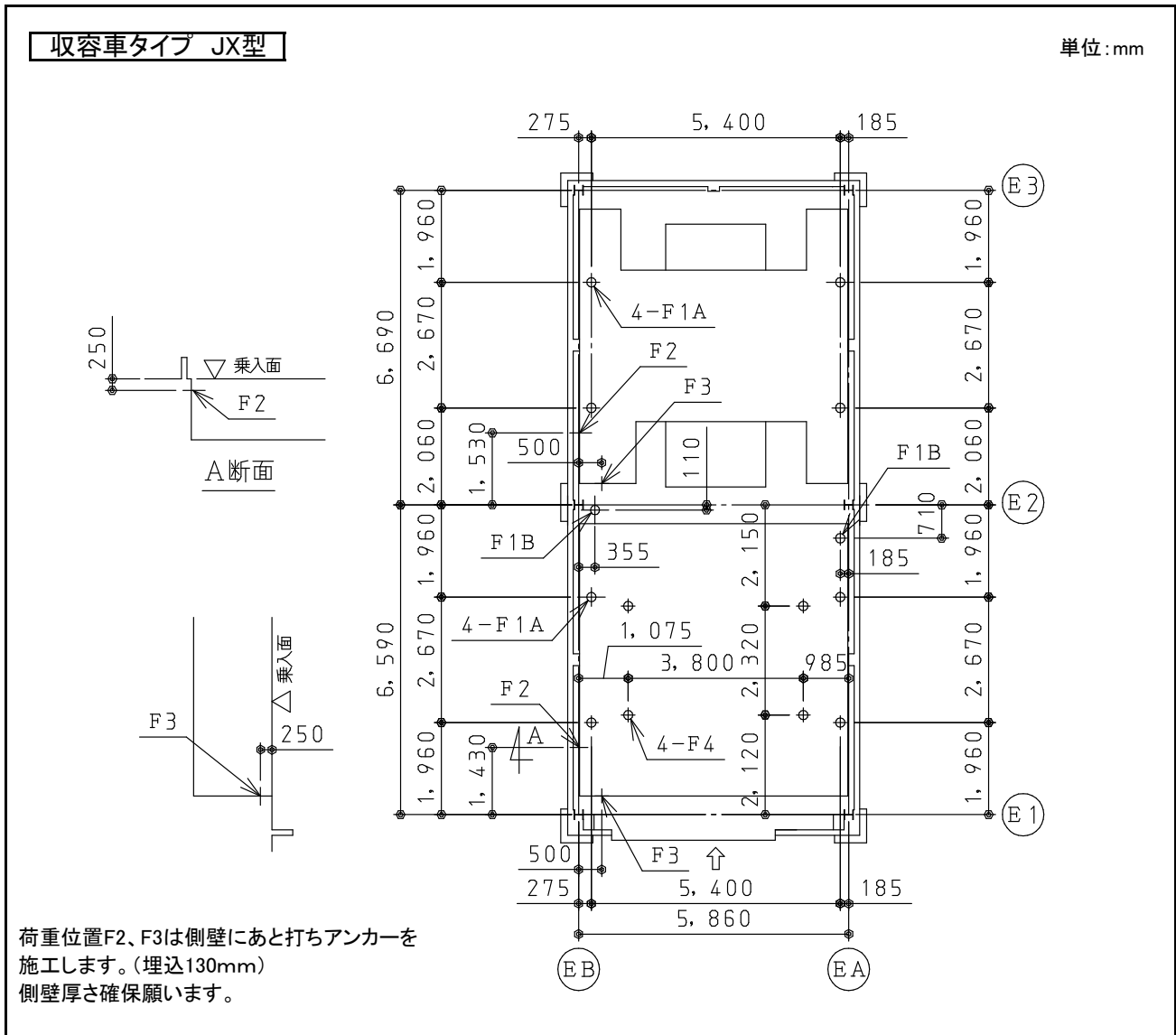
(縦列)



独立鉄塔型 棚柱の柱脚荷重

下部乗入れ自走縦列式

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW2JX-□T1*□T1-F



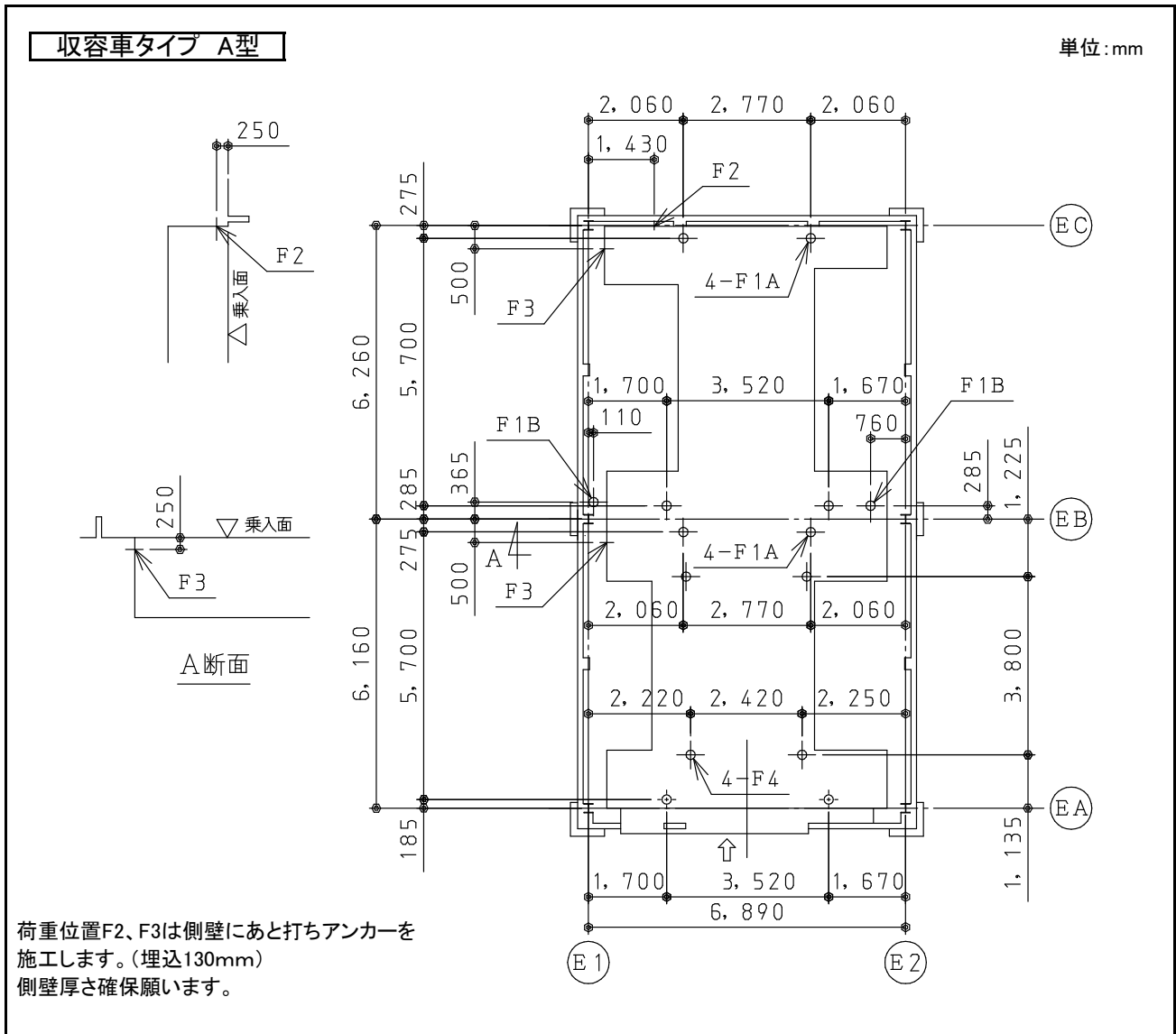
(単位:kN)

	収容台数	棚 柱				駆動部		車路デッキ	
		F1A		F1B		F2	F3	F4	
		満車	空車	満車	空車				
長期	圧縮	16+16	70	32	71	31	-21	-8	11
		18+18	76	34	77	33	-21	-8	
		20+20	83	35	84	35	-21	-8	
		22+22	89	37	91	36	-21	-8	
		24+24	95	39	97	38	-21	-8	
		26+26	102	41	104	39	-21	-8	
		28+28	108	42	110	41	-21	-8	
		30+30	115	44	117	43	-21	-8	
		32+32	121	46	124	44	-21	-8	
		34+34	128	48	130	46	-21	-8	
		36+36	134	49	137	48	-21	-8	
		38+38	141	51	144	49	-21	-8	
40+40	147	53	150	51	-21	-8			
42+42	153	54	157	53	-21	-8			
短期 (地震時)	圧縮 剪断		5		3	-29	-12		

注) 上記の表は1ヶ所当たりの荷重を示します。F2.F3は水平方向の荷重を示します。(ー)は上向き方向を示します。
耐火間仕切の場合の寸法については問い合わせ願います。

下部乗入れ自走縦列式

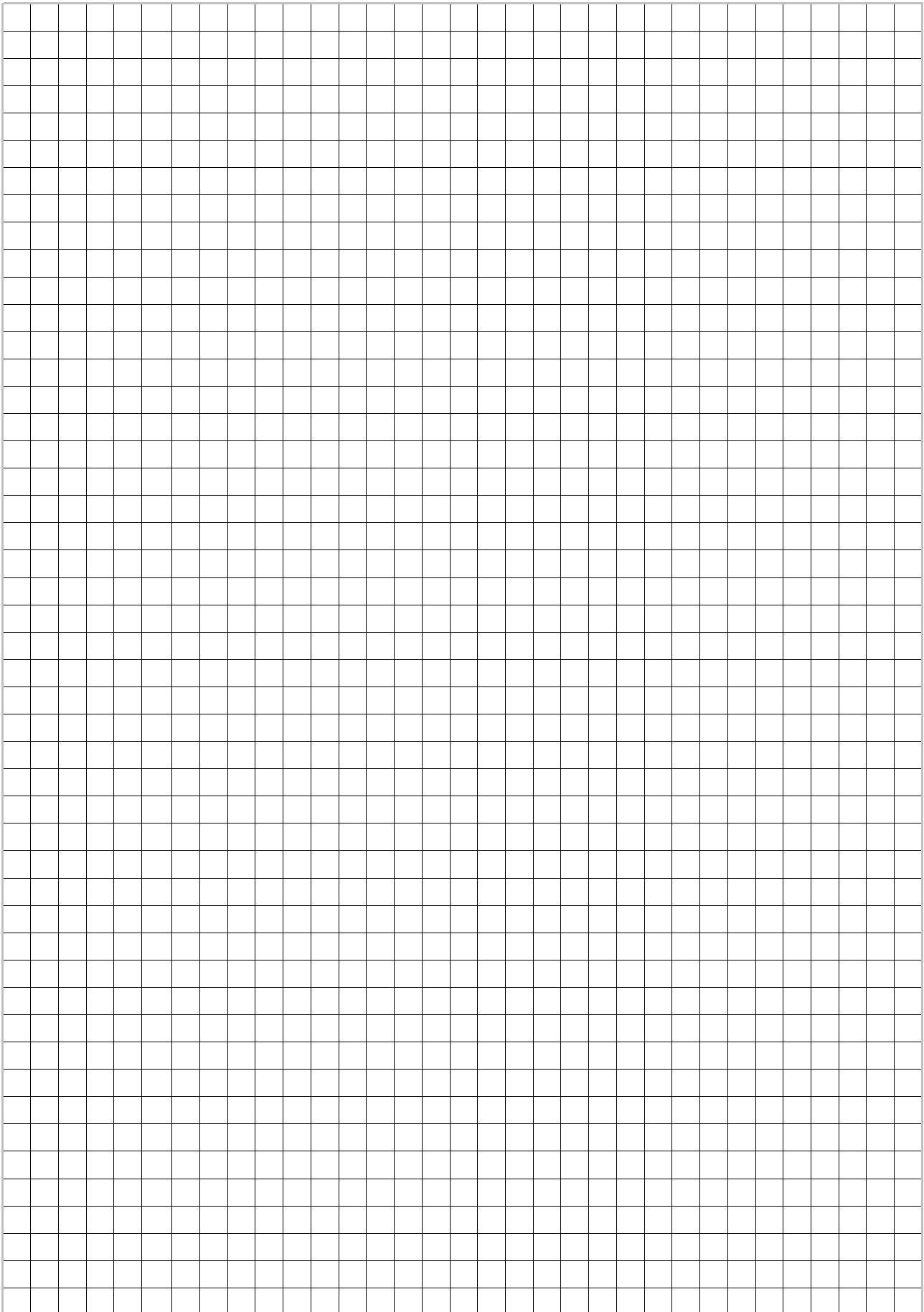
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ) EW2A-□T2*□T2-F



(単位:kN)

	収容台数	棚 柱				駆動部		車路デッキ	
		F1A		F1B		F2	F3	F4	
		満車	空車	満車	空車				
長期	圧縮	16+16	89	36	62	30	-22	-10	11
		18+18	98	38	68	31	-22	-10	
		20+20	107	41	73	32	-22	-10	
		22+22	116	43	79	34	-22	-10	
		24+24	125	45	84	35	-22	-10	
		26+26	134	48	90	37	-22	-10	
		28+28	143	50	95	38	-22	-10	
		30+30	152	52	101	40	-22	-10	
		32+32	160	54	106	41	-22	-10	
		34+34	169	57	112	43	-22	-10	
		36+36	178	59	118	44	-22	-10	
		38+38	187	61	123	46	-22	-10	
		40+40	196	63	129	47	-22	-10	
42+42	205	66	134	48	-22	-10			
短期 (地震時)	圧縮 剪断		5		3	-31	-14		

注) 上記の表は1ヶ所当たりの荷重を示します。F2.F3は水平方向の荷重を示します。(ー)は上向き方向を示します。
耐火間仕切の場合の寸法については問い合わせ願います。



3.ピット 周辺図

ピット周辺図	
独立鉄塔型	39
ビル内鉄塔型（分離型）	43
ビル内鉄塔型（一体型）	47
柱脚部アンカープラン表	
独立鉄塔型	52
ビル内鉄塔型（分離型）	53
ビル内鉄塔型（一体型）	54
吊フック取合図	
ビル内鉄塔型（分離型）	55
ビル内鉄塔型（一体型）	57
水平サポート及び駐車装置層重量	59

ピットおよび腰壁図

独立鉄塔型

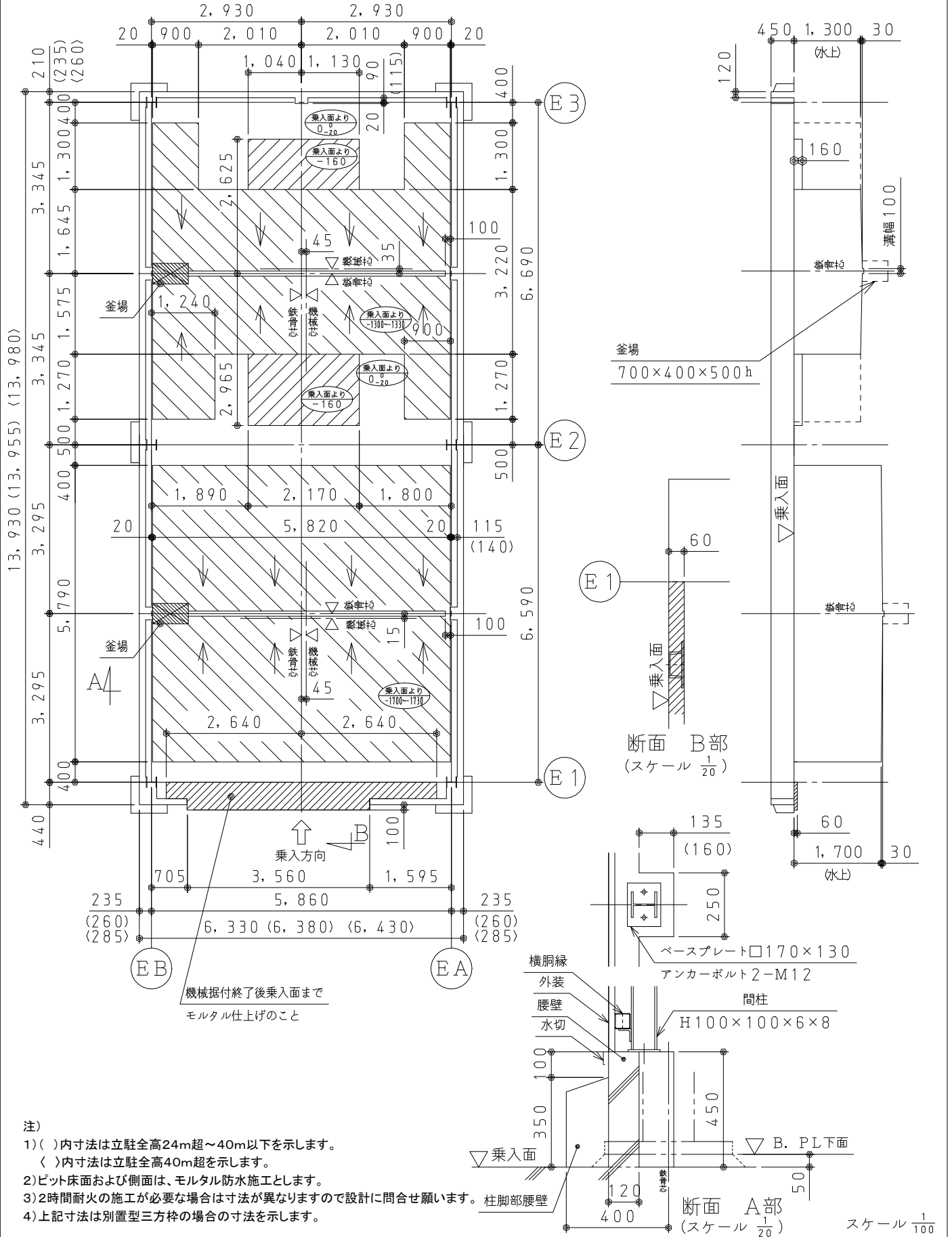
下部乗入れ自走縦列式

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW2JX-□T1*□T1-F

収容車タイプ JX型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイルーフ車仕様にも適用します。)



ピットおよび腰壁図

独立鉄塔型

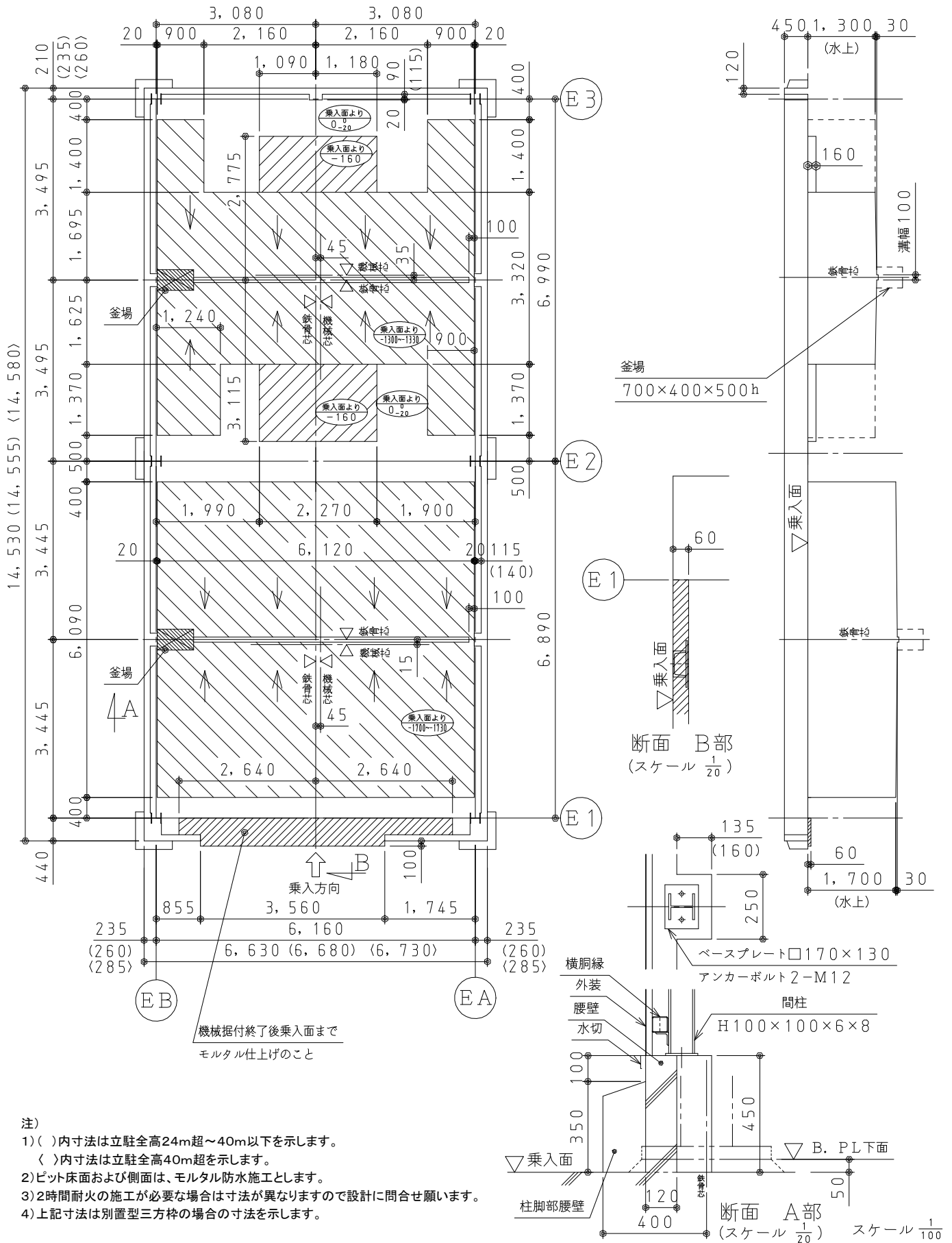
下部乗入れ自走縦列式

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW2A-□T1*□T1-F

収容車タイプ A型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイローフ車仕様にも適用します。)



注)

- 1) () 内寸法は立駐全高24m超~40m以下を示します。
< > 内寸法は立駐全高40m超を示します。
- 2) ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
- 3) 2時間耐火の施工が必要な場合は寸法が異なりますので設計に問合せ願います。
- 4) 上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。

ピットおよび腰壁図

独立鉄塔型

下部乗入れ自走縦列式

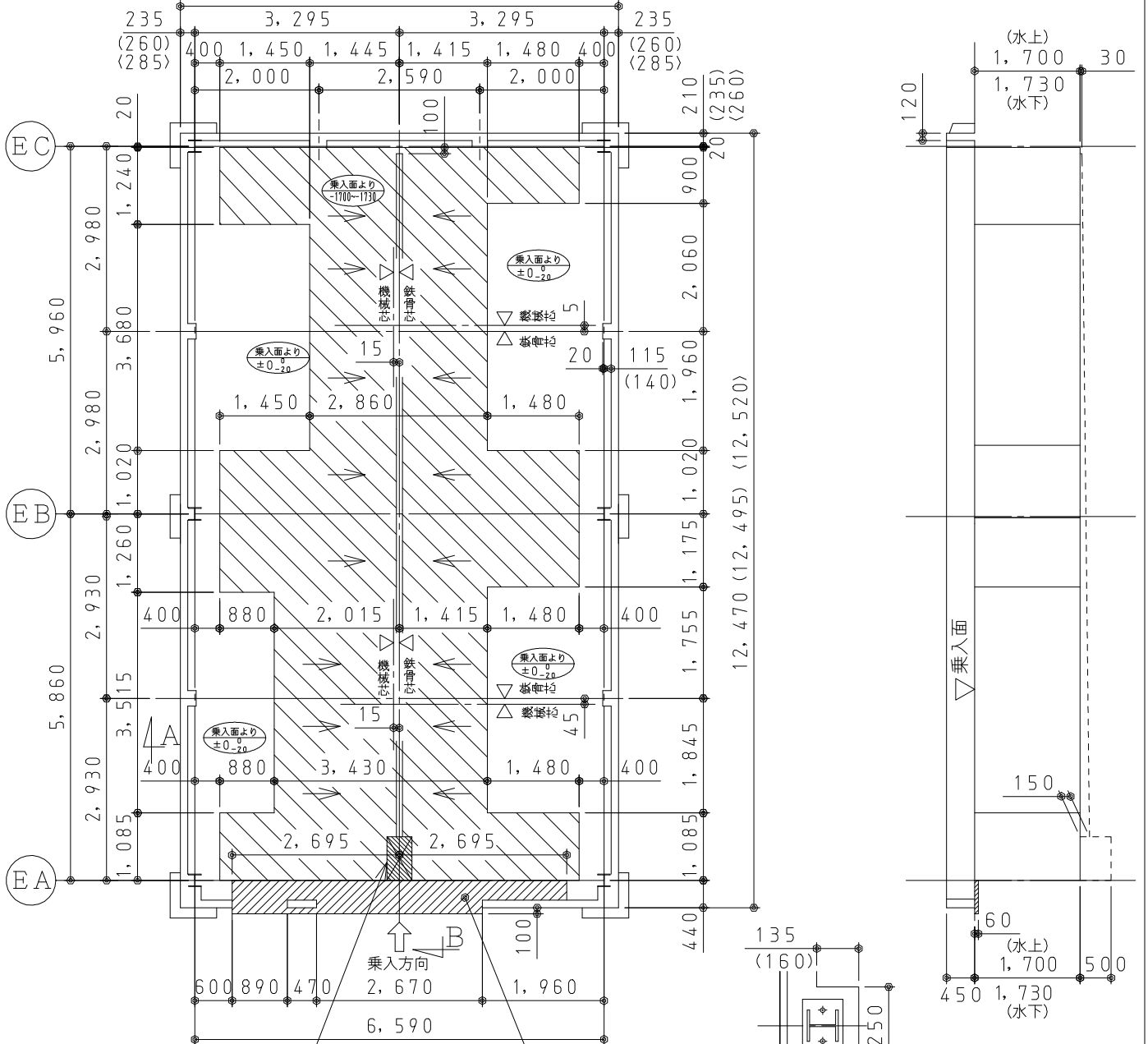
ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ) EW2JX-□T2*□T2-F

収容車タイプ JX型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイローフ車仕様にも適用します。)

7,060 (7,110) <7,160>

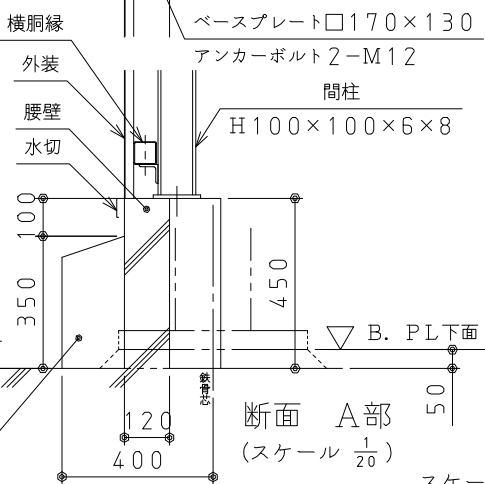


釜場
700×400×500h

機械据付終了後乗入面まで
モルタル仕上げのこと

コーナーアングル
(立駐工事)

断面 B部
(スケール 1/20)



スケール 1/100

- 注)
- 1) () 内寸法は立駐全高24m超~40m以下を示します。
< > 内寸法は立駐全高40m超を示します。
 - 2) ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
 - 3) 2時間耐火の施工が必要な場合は寸法が異なりますので設計に問合せ願います。
 - 4) 上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。

ピットおよび腰壁図

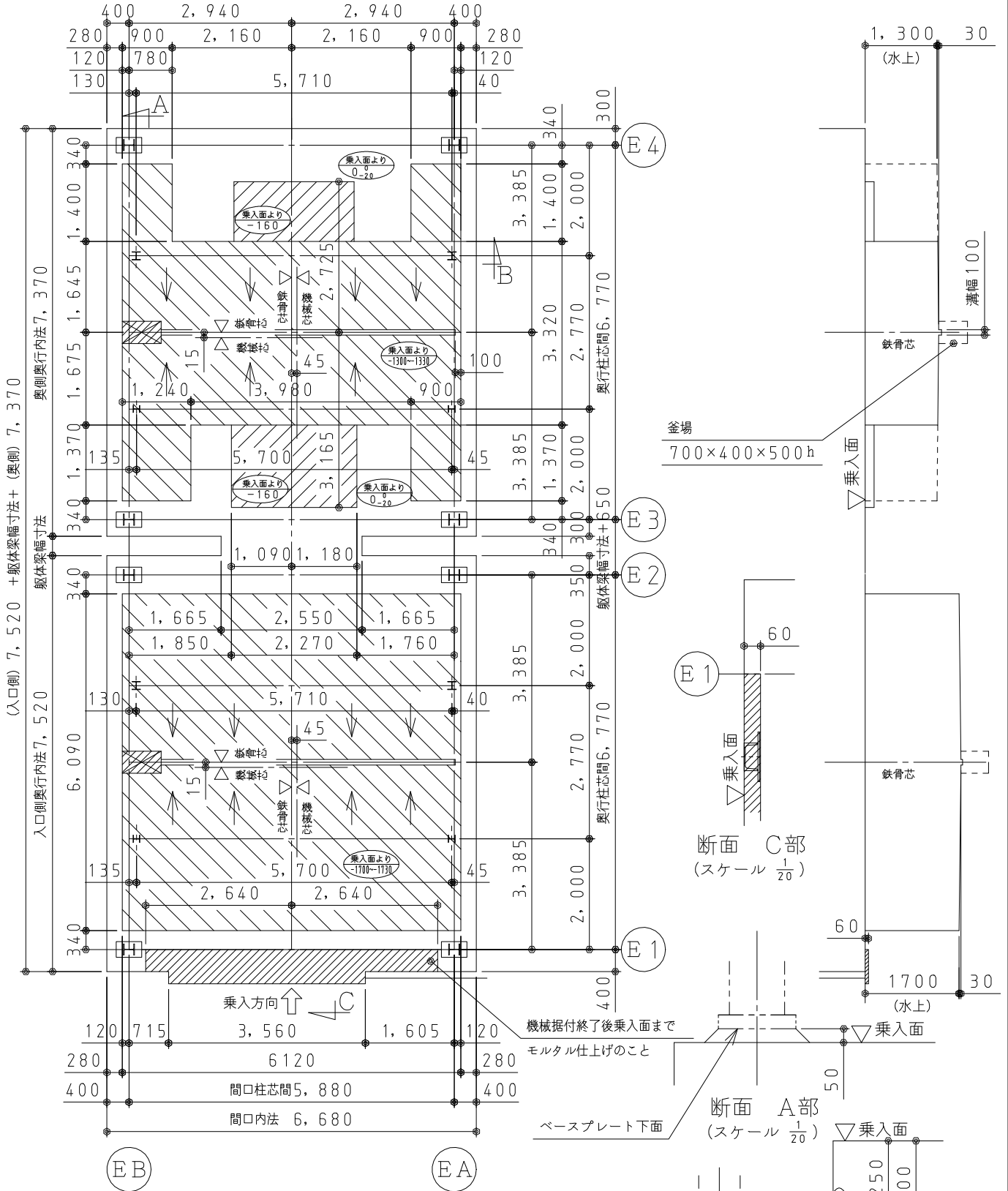
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(分離型)

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW3A-□T1*□T1-F

収容車タイプ A型

・単基の場合

(ミドルルフ・ハイルフ車仕様にも適用します。)



- 注)
- 1)ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
 - 2)上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。

ピットおよび腰壁図

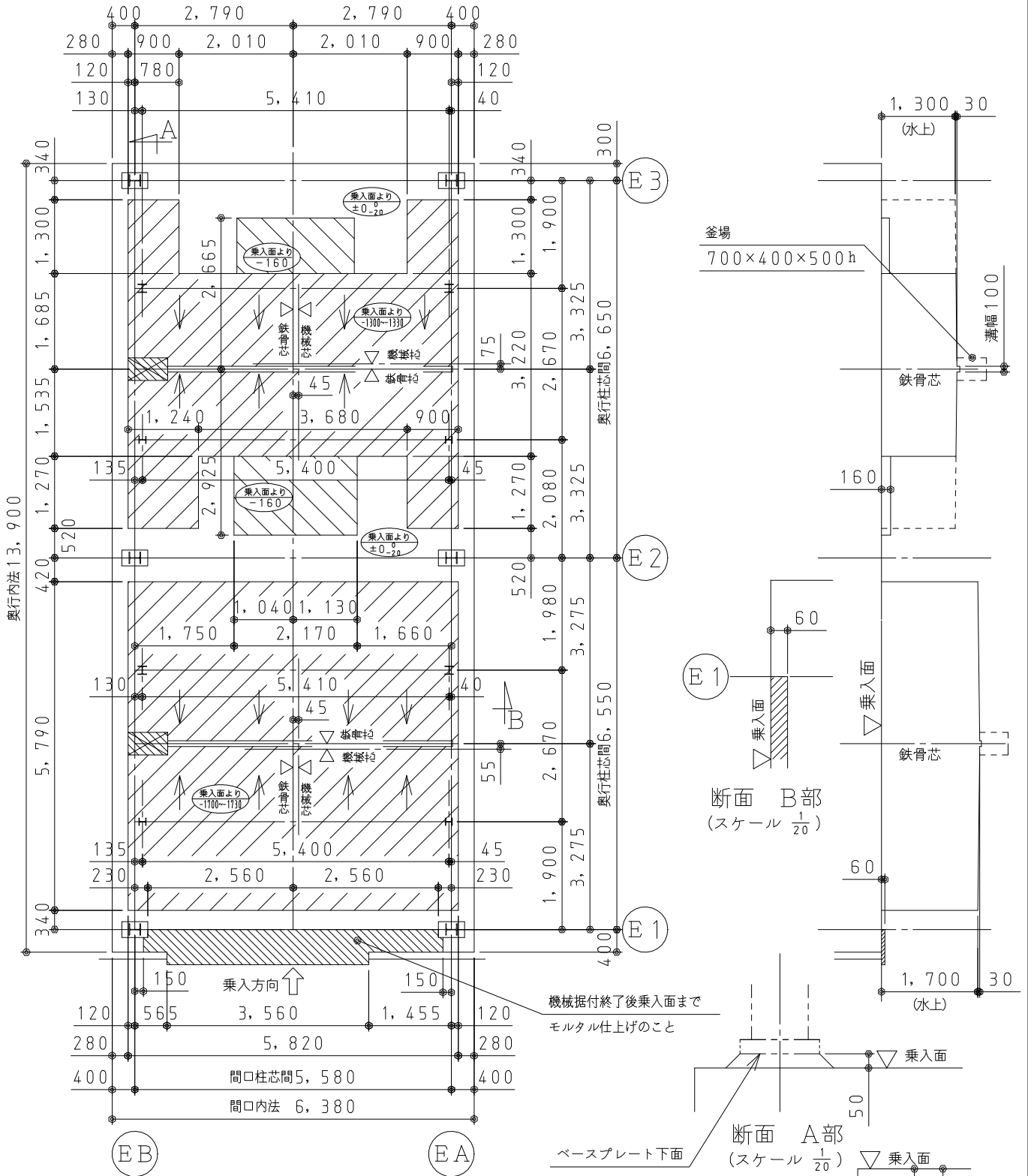
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(一体型)

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW3JX-□T1*□T1-F

収容車タイプ JX型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイルーフ車仕様にも適用します。)



注)

- 1)ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
- 2)上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。

ピットおよび腰壁図

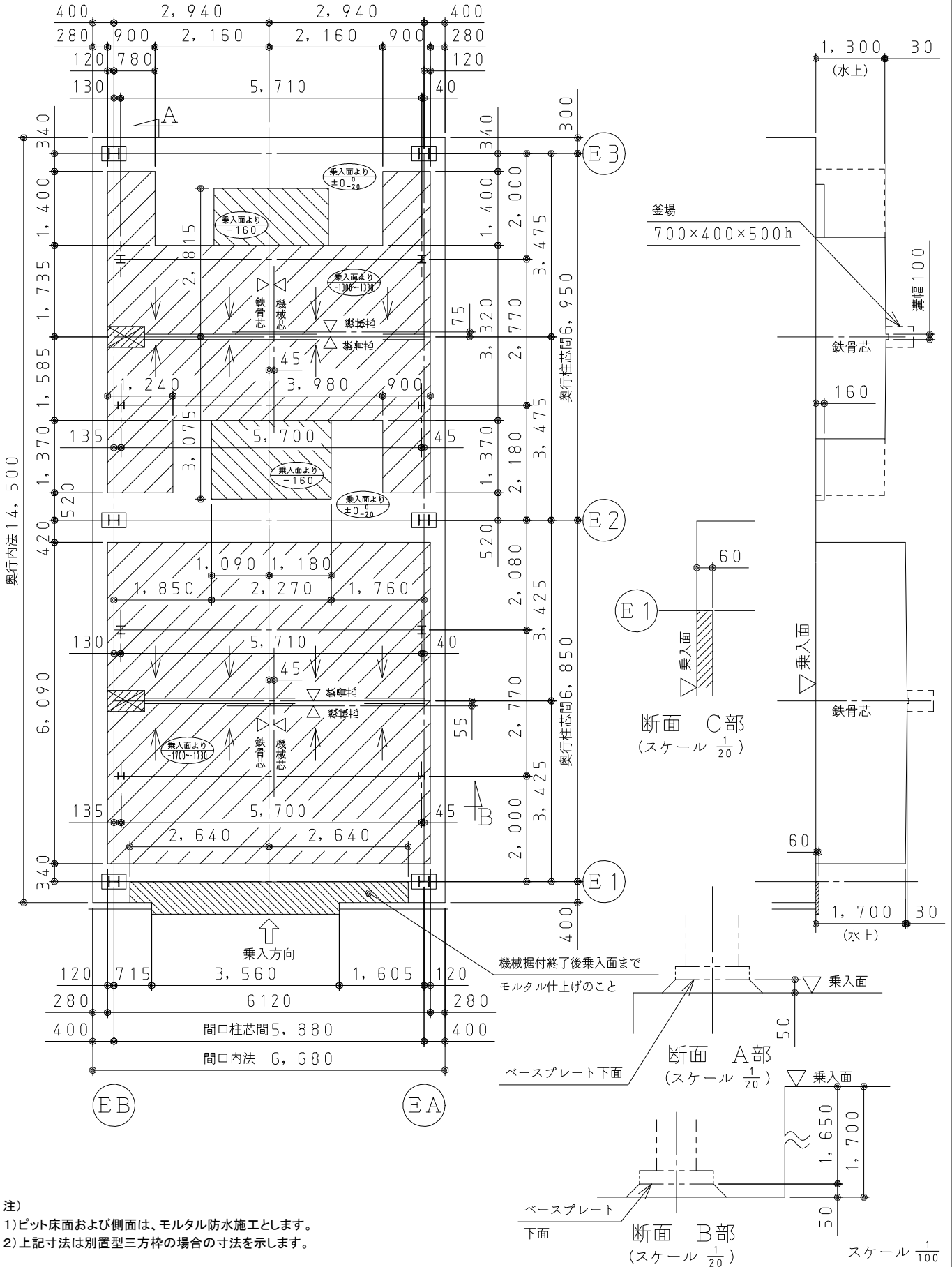
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(一体型)

ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ) EW3A-□T1 * T1-F

収容車タイプ A型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイローフ車仕様にも適用します。)



- 注)
- 1)ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
 - 2)上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。

ピットおよび腰壁図

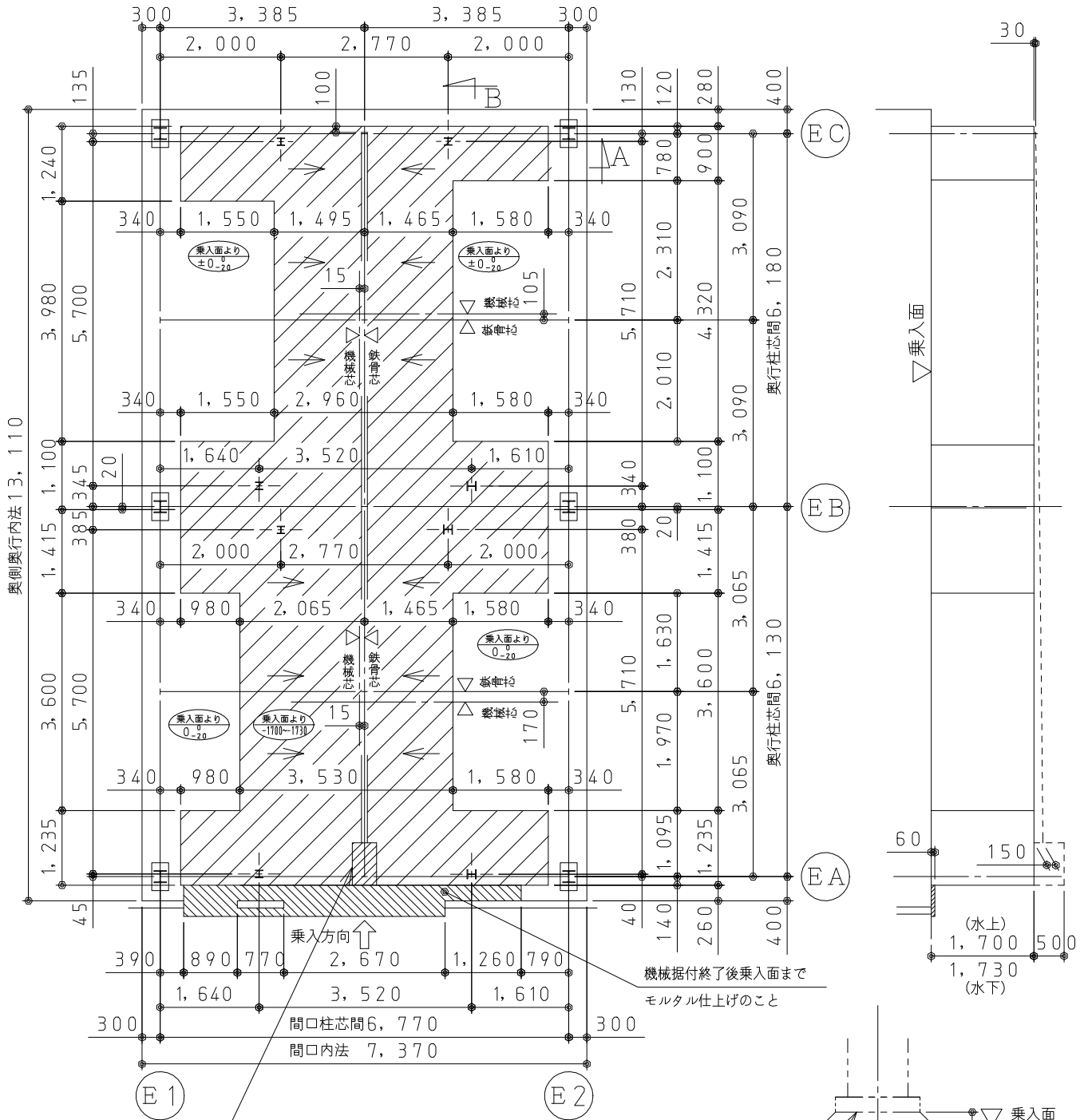
ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(一体型)

ターンテーブル内蔵型(180° 乗入れ) EW3A-□T2*□T2-F

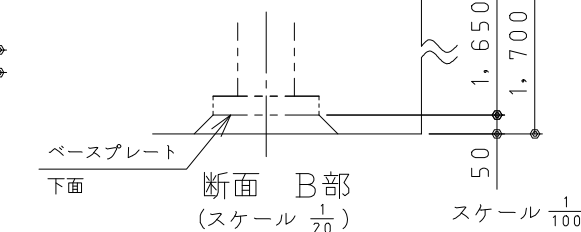
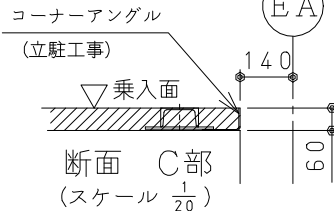
収容車タイプ A型

・単基の場合

(ミドルーフ・ハイローフ車仕様にも適用します。)

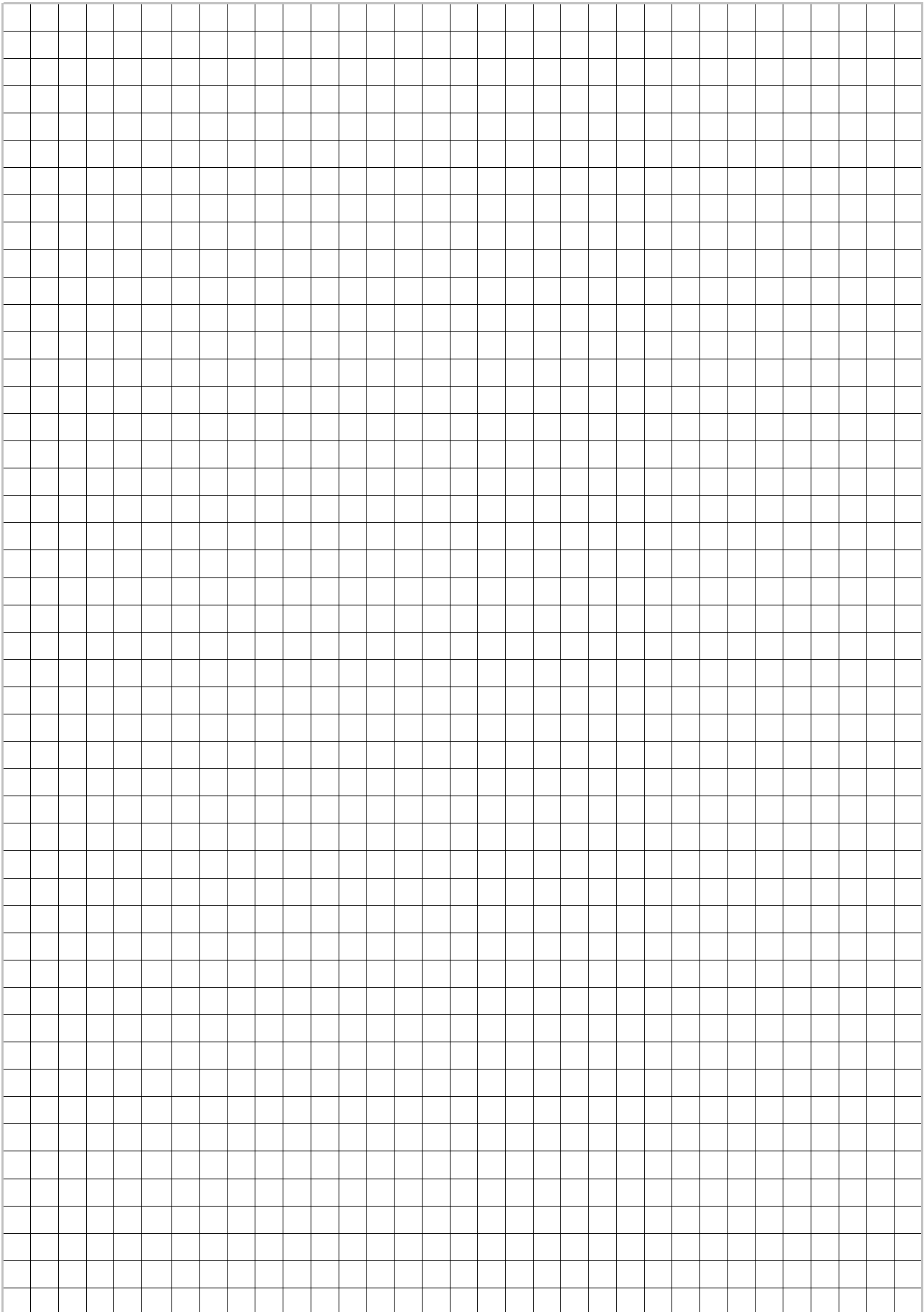


釜場
700×400×500h



注)

- 1)ピット床面および側面は、モルタル防水施工とします。
- 2)上記寸法は別置型三方枠の場合の寸法を示します。



独立鉄塔型 柱脚部アンカープラン表

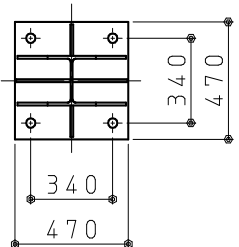
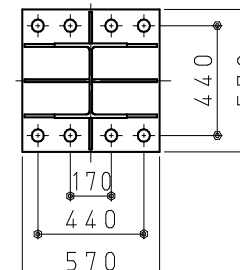
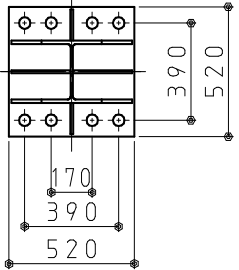
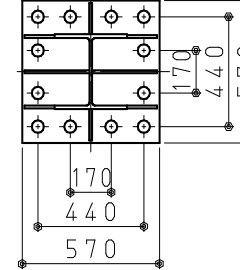
T1(90° 乗入れ)・T2(180° 乗入れ)とも共通です。

全高	柱脚	J X		A	
		隅柱	中柱	隅柱	中柱
20m	柱	H-200	H-200	H-200	H-200
	アンカー	φ30-L1000	φ39-L1500	φ30-L1000	φ39-L1500
	ベースタイプ	1	1	1	1
26m	柱	H-200	H-250	H-200	H-250
	アンカー	φ36-L1200	φ36-L1200	φ39-L1500	φ36-L1200
	ベースタイプ	1	2	1	2
31m	柱	H-200	H-250	H-200	H-250
	アンカー	φ48-L1600	φ42-L1500	φ48-L1600	φ48-L1600
	ベースタイプ	1	2	1	2
35m	柱	H-250	H-300	H-250	H-300
	アンカー	φ36-L1200	φ48-L1600	φ36-L1200	φ48-L1600
	ベースタイプ	2	3	2	3
40m	柱	H-250	H-300	H-250	H-300
	アンカー	φ36-L1200	φ42-L1500	φ39-L1500	φ42-L1500
	ベースタイプ	2	4	2	4
45m	柱	H-250	H-300	H-250	H-300
	アンカー	φ39-L1500	φ48-L1600	φ39-L1500	φ48-L1600
	ベースタイプ	2	4	2	4

注) 上表は、次の荷重条件で算出したものです。建設地及び荷重条件により異なるため、あくまで目安として下さい。
また、ベースのタイプは下図を参照して下さい。

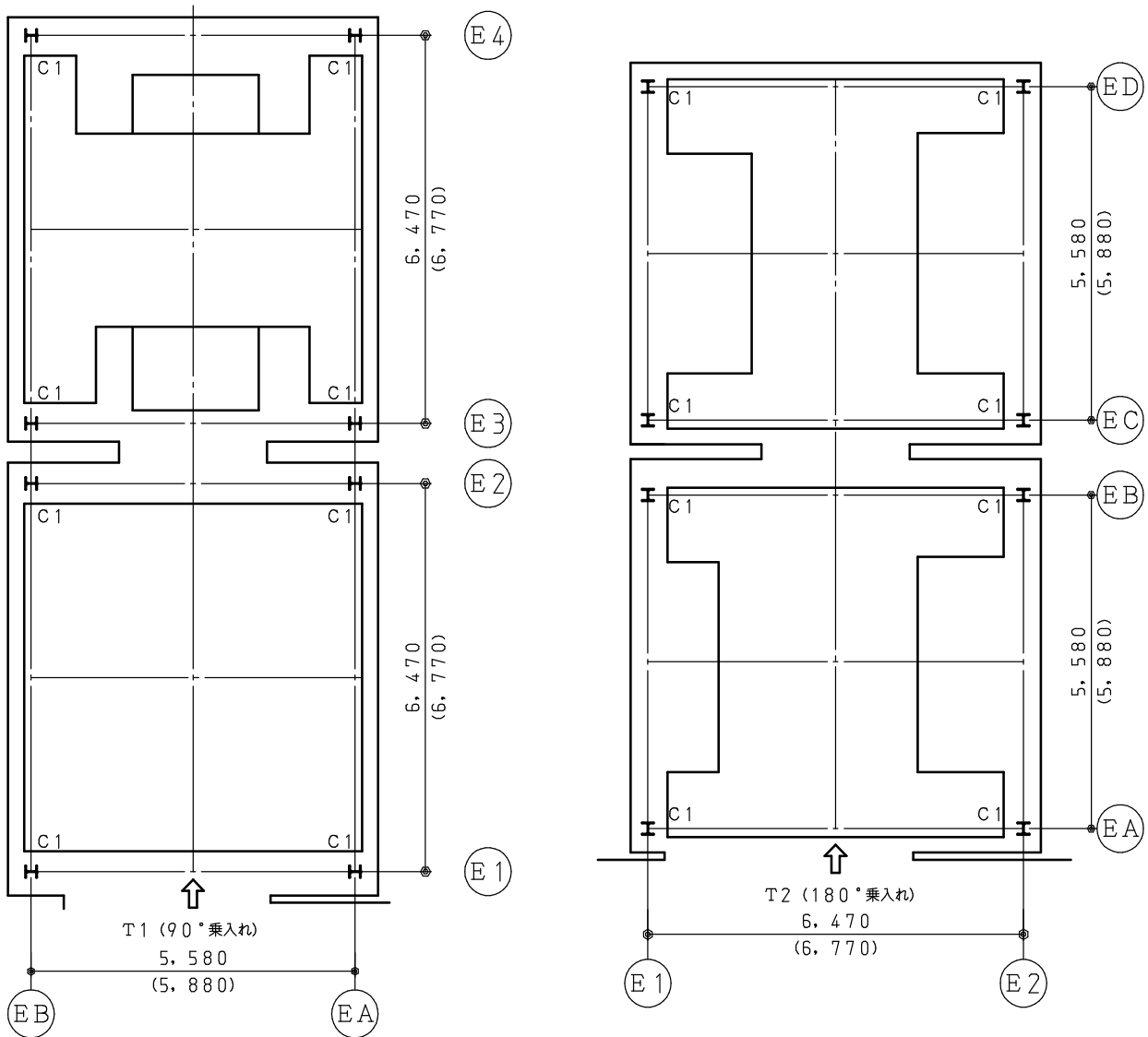
- 1) 地震時の地域係数 Z=1.0、地盤種別第2種とし、柱脚部の保有耐力接合により算出しています。
- 2) 積雪荷重は、含みません。
- 3) アンカーのL数値は、埋め込み長さ(mm)を示します。
- 4) 柱材(H型钢)の向きは、ピット周辺図を参照願います。

ベースタイプ図

タイプ1 H-200 4本		タイプ3 H-300 8本	
タイプ2 H-250 8本		タイプ4 H-300 12本	

ビル内鉄塔型 柱脚部アンカープラン表 (分離型)

注) ()内寸法は、収容車A(大型車)タイプを示します。



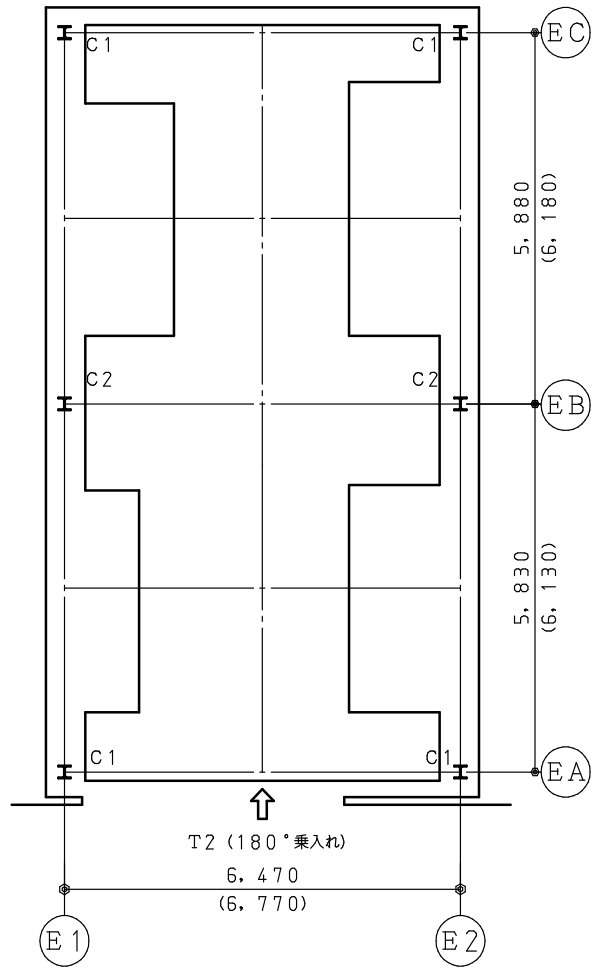
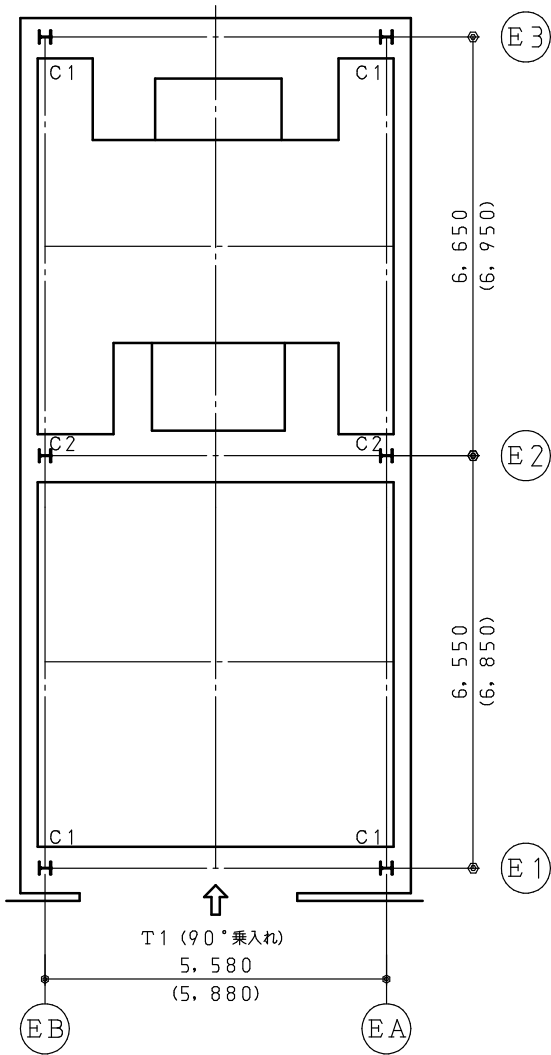
全高 柱記号	3 1. 6 m以下	3 1. 6 m超
C 1	<p>柱 H-200 A. BOLT 4-ϕ30 L=900</p>	<p>柱 H-200 A. BOLT 4-ϕ36 L=900</p>

注) 上表は、次の荷重条件で算出したものです。建設地及び荷重条件により異なるため、あくまで目安としてください。

- 1) 地震時の地域係数 $Z=1.0$ 、地盤種別第2種、 $C_0=0.2$ としています。
- 2) 本体建築物の地震時変形量を、 $1/200$ として設計しています。
- 3) アンカーのL数値は、埋め込み長さ(mm)を示します。

ビル内鉄塔型 柱脚部アンカープラン表 (一体型)

注) ()内寸法は、収容車A(大型車)タイプを示します。



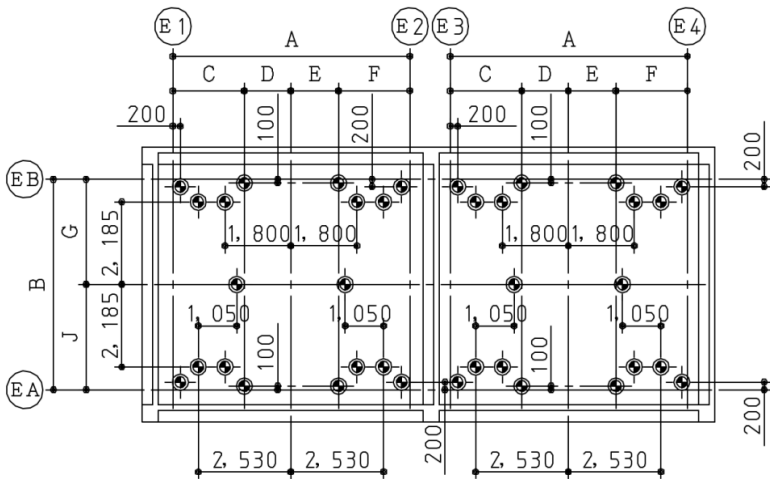
全高 柱記号	31.6m以下	31.6m超
C1、C2	<p>柱 H-200 A. BOLT 4-φ36 L=900</p>	<p>柱 H-200 A. BOLT 4-φ36 L=1,200</p>

注) 上表は、次の荷重条件で算出したものです。建設地及び荷重条件により異なるため、あくまで目安としてください。

- 1) 地震時の地域係数 $Z=1.0$ 、地盤種別第2種、 $C_0=0.2$ としています。
- 2) 本体建築物の地震時変形量を、 $1/200$ として設計しています。
- 3) アンカーのL数値は、埋め込み長さ(mm)を示します。

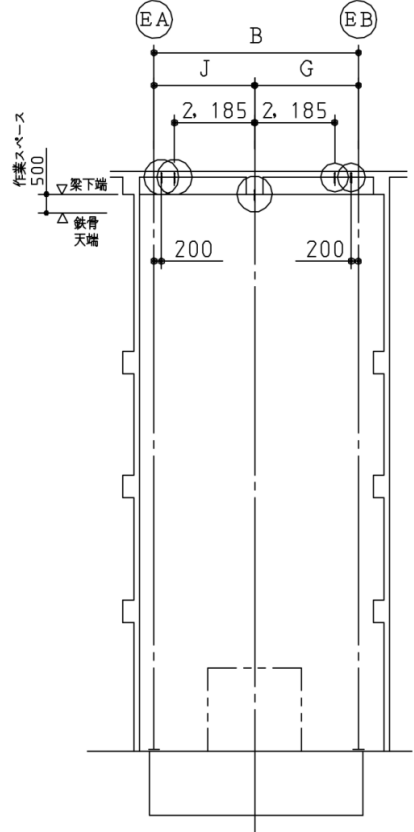
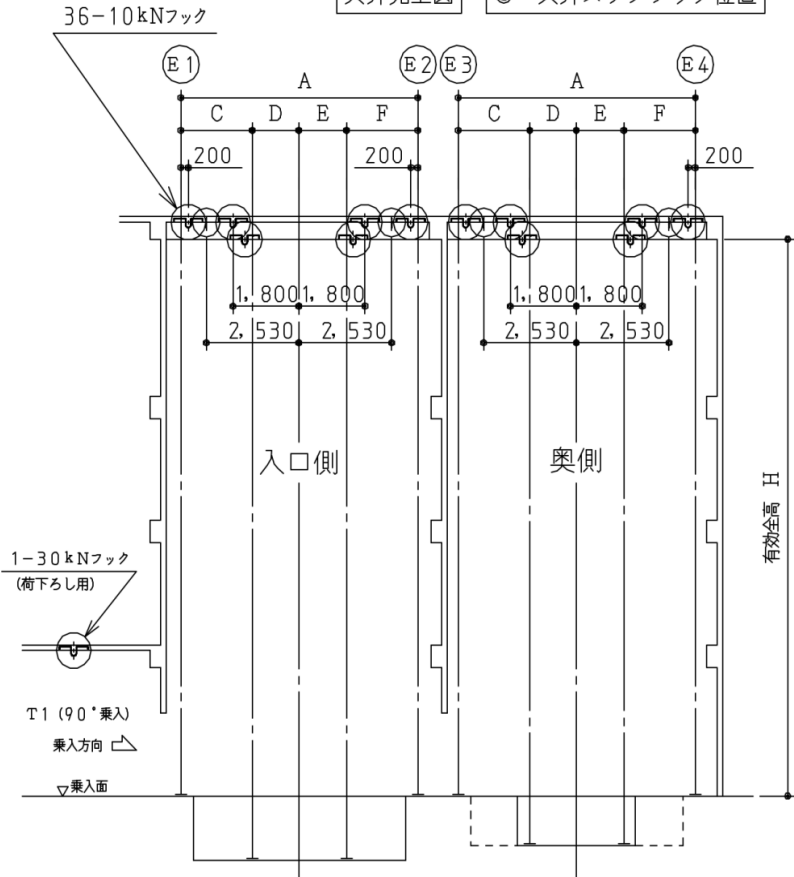
吊フック取合図 (分離型)

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(90° 乗入れ式)

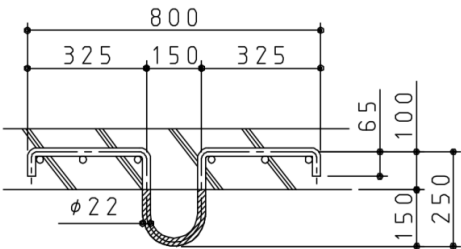


収容車タイプ 寸法	JX (JXM, JXH)	A (AM, AH)
A (mm)	6,470	6,770
B (mm)	5,580	5,880
C (mm)	1,900	2,000
D (mm)	1,320	1,370
E (mm)	1,350	1,400
F (mm)	1,900	2,000
G (mm)	2,835	2,985
J (mm)	2,745	2,895

天井見上図 ●...天井スラブフック位置



断面図



吊りフック詳細図

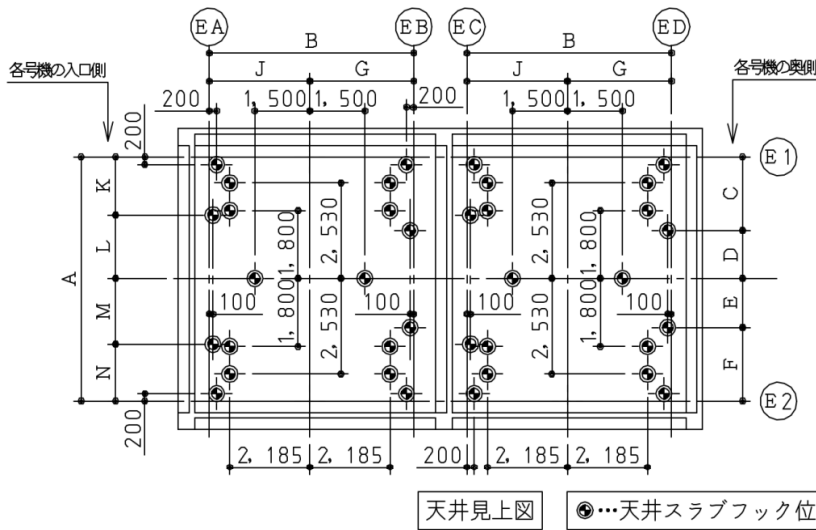
部品製作：立駐工事
埋込：建築工事
埋込みの際、斜線部のみ
露出するよう埋込み願います。

- 注1) 吊フックは、躯体鉄筋の上部に固定し、コンクリート打設時にずれないように注意願います。
注2) 吊フックは、上部36個、下部1個 合計37個です。

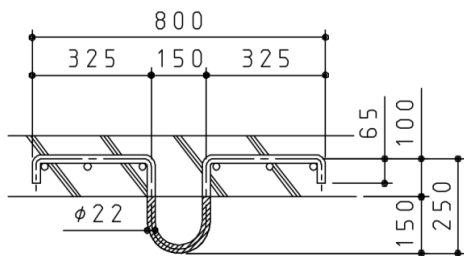
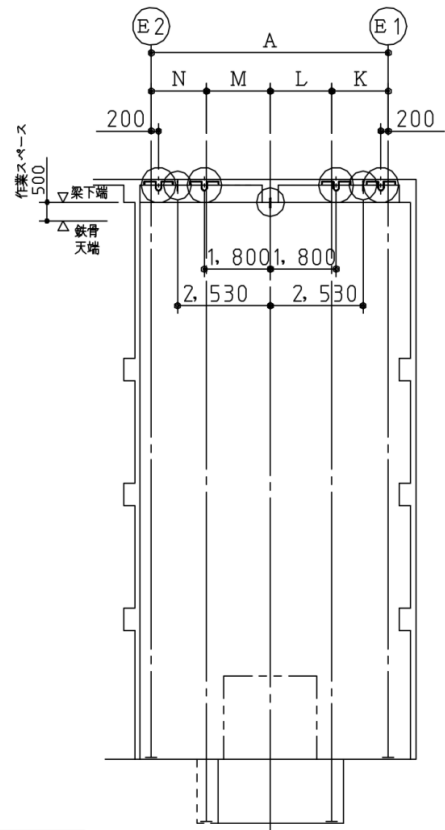
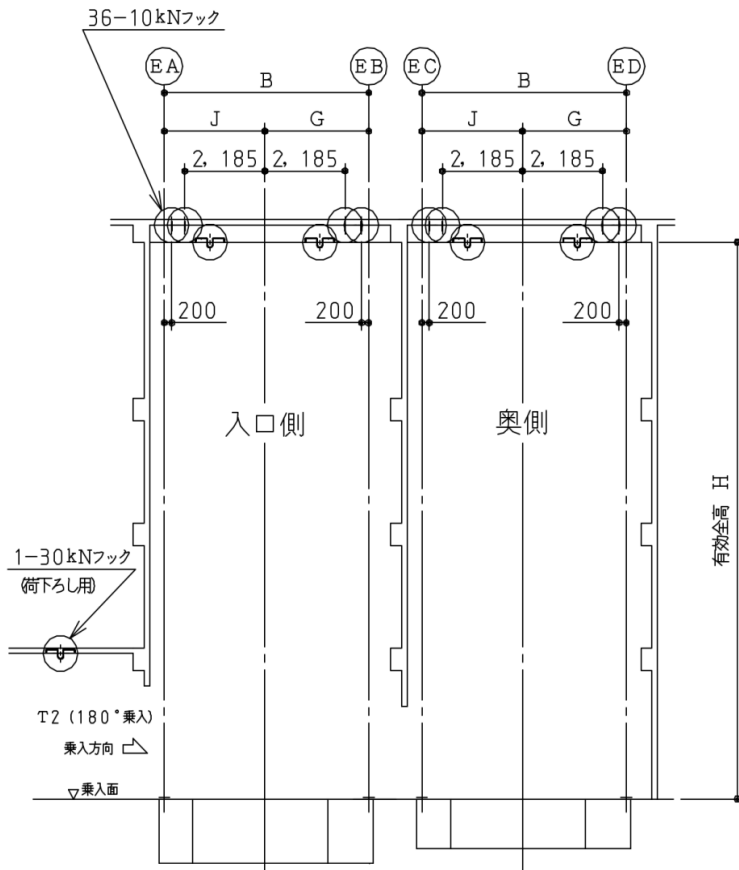
吊荷重
・荷おろし用 30 kN/ヶ所
・塔内鉄骨、ゴンドラ用 10 kN/ヶ所

スケール 1/200

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(180° 乗入れ式)



収容車タイプ	JX (JXM, JXH)	A (AM, AH)
寸法		
A (mm)	6,470	6,770
B (mm)	5,580	5,880
C (mm)	1,900	2,000
D (mm)	1,320	1,370
E (mm)	1,350	1,400
F (mm)	1,900	2,000
G (mm)	2,835	2,985
J (mm)	2,745	2,895
K (mm)	1,540	1,640
L (mm)	1,680	1,730
M (mm)	1,740	1,790
N (mm)	1,510	1,610



部品製作：立駐工事
埋込：建築工事
埋込みの際、斜線部のみ
露出するよう埋込み願います。

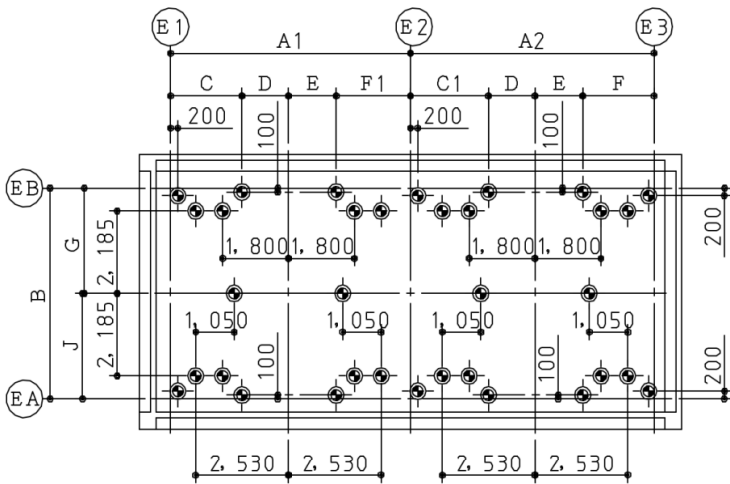
- 注1) 吊フックは、躯体鉄筋の上部に固定し、コンクリート打設時にずれないように注意願います。
注2) 吊フックは、上部36個、下部1個 合計37個です。

吊荷重
・荷おろし用 30 kN/ヶ所
・塔内鉄骨、ゴンドラ用 10 kN/ヶ所

スケール 1/200

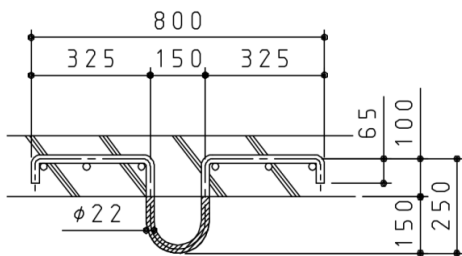
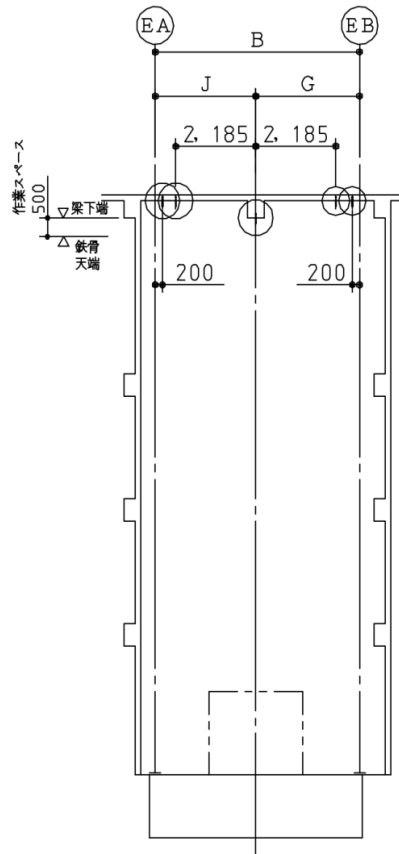
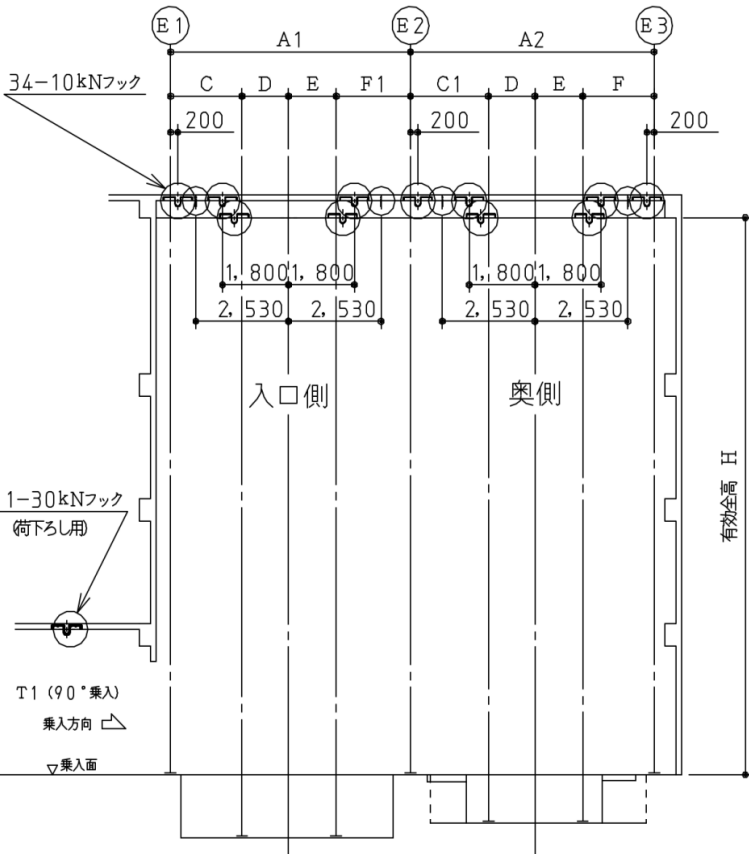
吊フック取合図 (一体型)

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(90° 乗入れ式)



天井見上図 ●...天井スラブフック位置

収容車タイプ	JX (JXM, JXH)	A (AM, AH)
寸法		
A1 (mm)	6,550	6,850
A2 (mm)	6,650	6,950
B (mm)	5,580	5,880
C (mm)	1,900	2,000
C1 (mm)	2,080	2,180
D (mm)	1,320	1,370
E (mm)	1,350	1,400
F (mm)	1,900	2,000
F1 (mm)	1,980	2,080
G (mm)	2,835	2,985
J (mm)	2,745	2,895



吊りフック詳細図

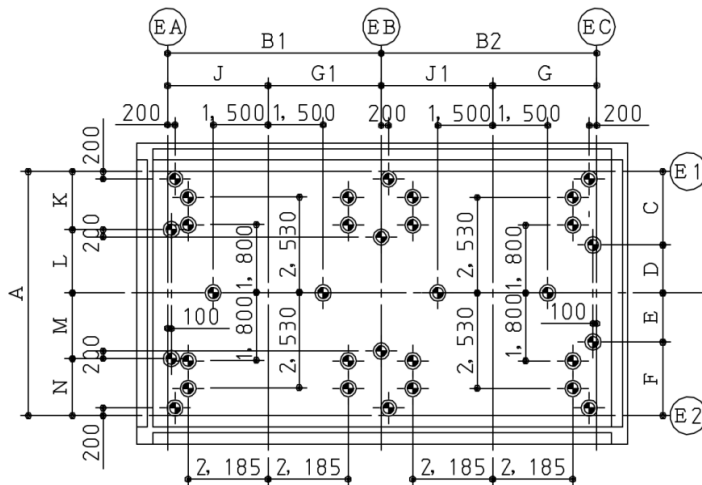
部品製作：立駐工事
埋込：建築工事
埋込みの際、斜線部のみ
露出するよう埋込み願います。

- 注1) 吊フックは、躯体鉄筋の上部に固定し、コンクリート打設時にずれないように注意願います。
注2) 吊フックは、上部34個、下部1個 合計35個です。

吊荷重
・荷おろし用 30 kN/ヶ所
・塔内鉄骨、ゴンドラ用 10 kN/ヶ所

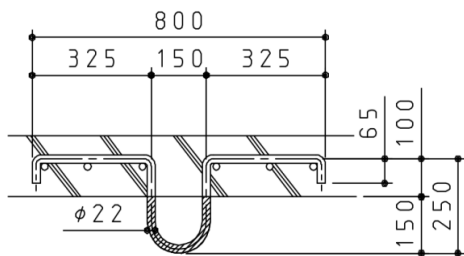
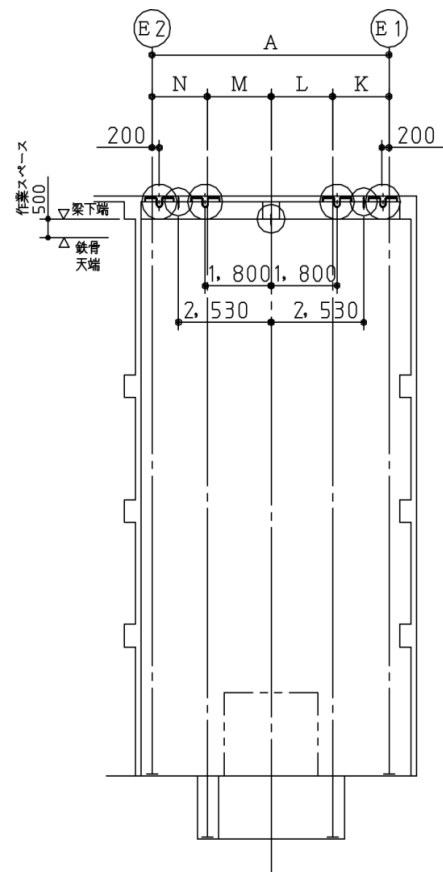
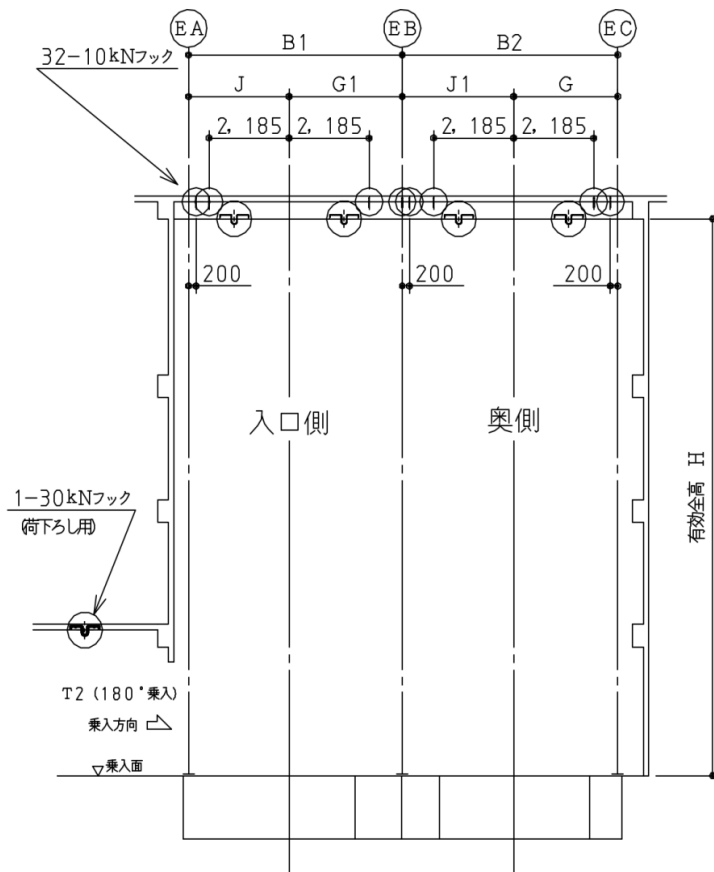
スケール 1/200

ビル内鉄塔型 下部乗入れ自走縦列式(180° 乗入れ式)



収容車タイプ	JX (JXM, JXH)	A (AM, AH)
寸法		
A (mm)	6,470	6,770
B1 (mm)	5,830	6,130
B2 (mm)	5,880	6,180
C (mm)	1,900	2,000
D (mm)	1,320	1,370
E (mm)	1,350	1,400
F (mm)	1,900	2,000
G (mm)	2,835	2,985
G1 (mm)	3,085	3,235
J (mm)	2,745	2,895
J1 (mm)	3,045	3,195
K (mm)	1,540	1,640
L (mm)	1,680	1,730
M (mm)	1,740	1,790
N (mm)	1,510	1,610

天井見上図 ●...天井スラブフック位置



吊りフック詳細図

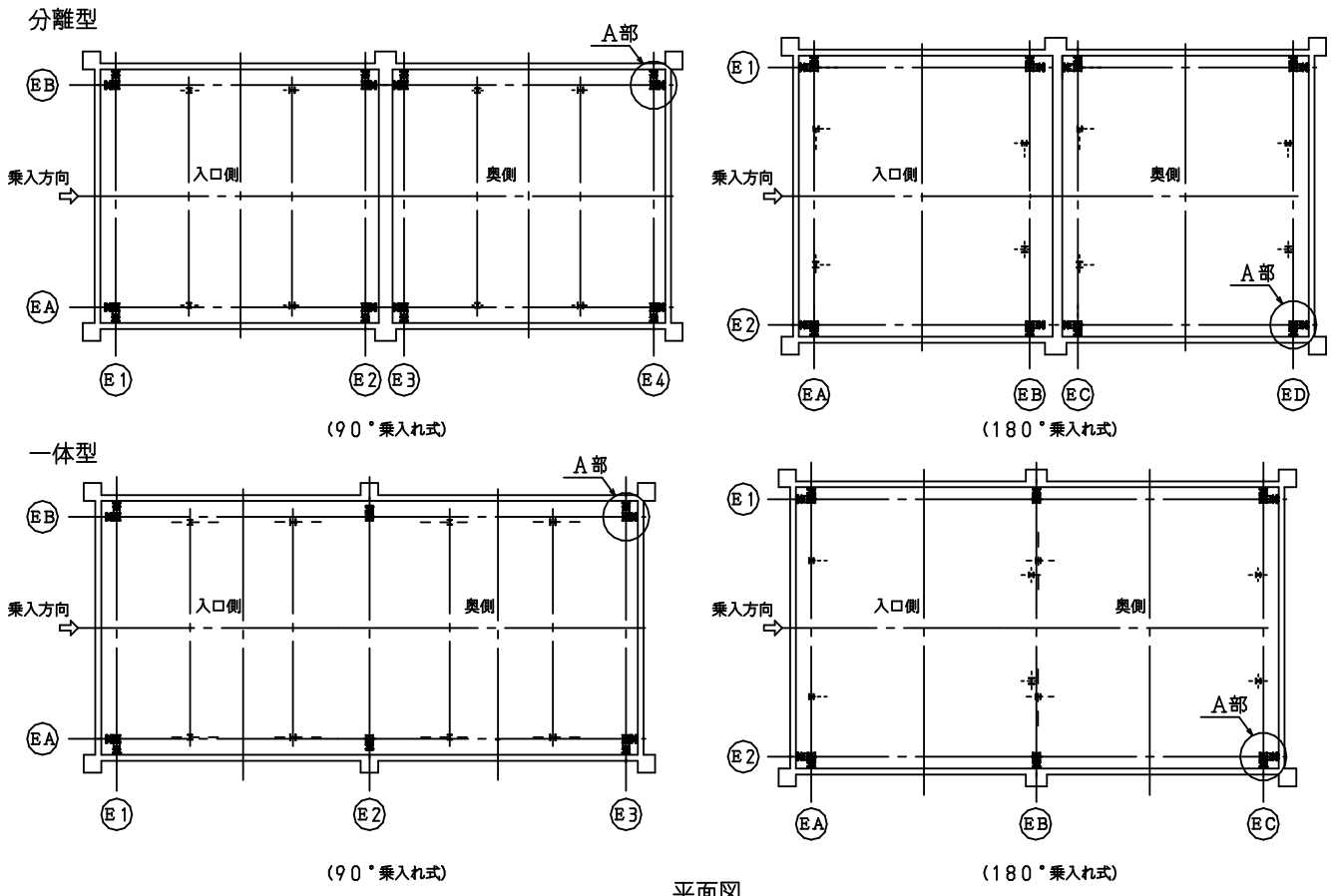
部品製作：立駐工事
埋込：建築工事
埋込みの際、斜線部のみ露出するよう埋込み願います。

- 注1) 吊フックは、躯体鉄筋の上部に固定し、コンクリート打設時にずれないように注意願います。
注2) 吊フックは、上部32個、下部1個 合計33個です。

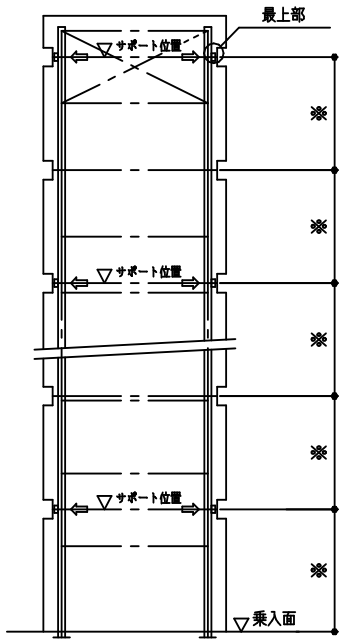
吊荷重
・荷おろし用 30 kN/ヶ所
・塔内鉄骨、ゴンドラ用 10 kN/ヶ所

スケール 1/200

水平サポートおよび駐車装置層重量

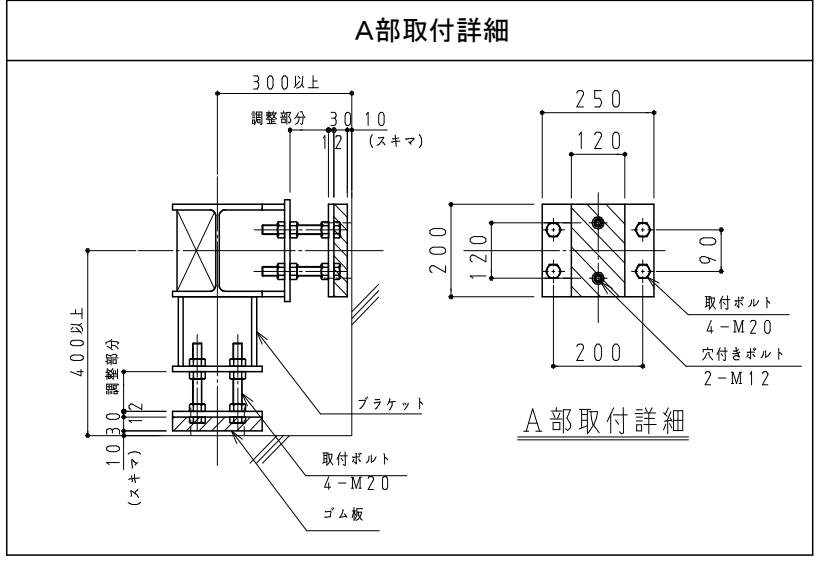


平面図



立面図

※印寸法は、各物件対応



A部取付詳細

- 注)
- 1) 水平サポートの位置及び反力は、各物件対応となります。
 - 2) 本体建築物の地震力算出時々は、各サポート位置での駐車装置層重量を概算値としてJX車は31kN/m、A車は37kN/mで計画してください。
 - 3) 本体建築物と各サポートにはスキマを設け、運転中の振動が伝わらないようにします。

4.円滑性 EW-F

円滑性の計算結果61

円滑性の計算結果

下部乗入れ自走縦列式 ターンテーブル内蔵型(90° 乗入れ・180° 乗入れ)

収容車タイプ JX、A型

90° 乗入れ

最大・最小・平均出庫時間

収容 台数	出庫優先モード			入庫優先モード		
	最大出庫時間	最小出庫時間	平均出庫時間	最大出庫時間	最小出庫時間	平均出庫時間
16*16	1分32秒	59秒	1分16秒	2分28秒	1分48秒	2分08秒
18*18	1分35秒	59秒	1分17秒	2分30秒	1分48秒	2分09秒
20*20	1分37秒	59秒	1分18秒	2分33秒	1分48秒	2分10秒
22*22	1分39秒	59秒	1分19秒	2分35秒	1分48秒	2分11秒
24*24	1分41秒	59秒	1分20秒	2分37秒	1分48秒	2分12秒
26*26	1分43秒	59秒	1分21秒	2分40秒	1分48秒	2分14秒
28*28	1分45秒	59秒	1分22秒	2分42秒	1分48秒	2分15秒
30*30	1分47秒	59秒	1分23秒	2分44秒	1分48秒	2分16秒
32*32	1分49秒	59秒	1分24秒	2分46秒	1分48秒	2分17秒
34*34	1分51秒	59秒	1分25秒	2分49秒	1分48秒	2分18秒
36*36	1分53秒	59秒	1分26秒	2分51秒	1分48秒	2分19秒
38*38	1分55秒	59秒	1分27秒	2分53秒	1分48秒	2分20秒
40*40	1分57秒	59秒	1分28秒	2分55秒	1分48秒	2分21秒
42*42	1分59秒	59秒	1分29秒	2分58秒	1分48秒	2分23秒
44*44	2分02秒	59秒	1分30秒	3分00秒	1分48秒	2分24秒
46*46	2分04秒	59秒	1分31秒	3分02秒	1分48秒	2分25秒
48*48	2分06秒	59秒	1分32秒	3分05秒	1分48秒	2分26秒
50*50	2分08秒	59秒	1分33秒	3分07秒	1分48秒	2分27秒

180° 乗入れ

最大・最小・平均出庫時間

収容 台数	出庫優先モード			入庫優先モード		
	最大出庫時間	最小出庫時間	平均出庫時間	最大出庫時間	最小出庫時間	平均出庫時間
16*16	1分15秒	41秒	58秒	1分53秒	1分12秒	1分32秒
18*18	1分17秒	41秒	59秒	1分55秒	1分12秒	1分34秒
20*20	1分19秒	41秒	1分00秒	1分57秒	1分12秒	1分35秒
22*22	1分21秒	41秒	1分01秒	2分00秒	1分12秒	1分36秒
24*24	1分23秒	41秒	1分02秒	2分02秒	1分12秒	1分37秒
26*26	1分25秒	41秒	1分03秒	2分04秒	1分12秒	1分38秒
28*28	1分27秒	41秒	1分04秒	2分07秒	1分12秒	1分39秒
30*30	1分29秒	41秒	1分05秒	2分09秒	1分12秒	1分40秒
32*32	1分32秒	41秒	1分06秒	2分11秒	1分12秒	1分42秒
34*34	1分34秒	41秒	1分07秒	2分13秒	1分12秒	1分43秒
36*36	1分36秒	41秒	1分08秒	2分16秒	1分12秒	1分44秒
38*38	1分38秒	41秒	1分09秒	2分18秒	1分12秒	1分45秒
40*40	1分40秒	41秒	1分11秒	2分20秒	1分12秒	1分46秒
42*42	1分42秒	41秒	1分12秒	2分22秒	1分12秒	1分47秒
44*44	1分44秒	41秒	1分13秒	2分25秒	1分12秒	1分48秒
46*46	1分46秒	41秒	1分14秒	2分27秒	1分12秒	1分49秒
48*48	1分48秒	41秒	1分15秒	2分29秒	1分12秒	1分51秒
50*50	1分50秒	41秒	1分16秒	2分31秒	1分12秒	1分52秒

最大出庫時間・・・最遠階の自動車を出庫させるのに要する時間で、操作完了後ドアが開くまでの時間。

最小出庫時間・・・最近階の自動車を出庫させるのに要する時間で、操作完了後ドアが開くまでの時間。

※出庫優先モード

「ドア閉」後、起動ブザー終了と同時にエレベータ上のパレットを棚へ格納して待機します。

※入庫優先モード

「ドア閉」後、起動ブザー終了と同時に起動し空パレットを入口に持ってきて待機します。

※上記の値は、設計値を示します。実際の時間は、収容車重量・機械の仕様等の条件により多少前後することがあります。

ShinMaywa

新明和工業株式会社

パーキングシステム事業部

ホームページアドレス <http://www.shinmaywa.co.jp/>